

第二十二回 帝國議會 貴族院議事速記録第十八號

明治三十九年三月二十四日(土曜日)

午前十時十一分開議

議事日程 第十八號 明治三十九年三月二十四日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 明治三十八年法律第十七號中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 明治三十九年法律第七十五號中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 明治三十九年法律第七十六號中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第八 明治三十七年度豫備金支出ノ件承諾ヲ求ムル件(政府提出衆議院送付) 會議(特別委員)(長報告)

第九 明治三十七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件承諾ヲ求ムル件(政府提出衆議院送付) 會議(特別委員)(長報告)

第十 明治三十七年度特別會計豫備金支出ノ件承諾ヲ求ムル件(政府提出衆議院送付) 會議(特別委員)(長報告)

第十一 明治三十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件承諾ヲ求ムル件(政府提出衆議院送付) 會議(特別委員)(長報告)

第十二 明治三十七年度清國事件第二豫備金支出ノ件承諾ヲ求ムル件(政府提出衆議院送付) 會議(特別委員)(長報告)

第十三 明治三十七年度臨時事件豫備費支出ノ件承諾ヲ求ムル件(政府提出衆議院送付) 會議(特別委員)(長報告)

第十四 廢兵院法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)

第十五 軍人恩給法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)

第十六 農工銀行補助法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)

第十七 齒科醫師法案(衆議院提出)

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十九 議院法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)

第二十 田租特免及食費給與並義務教育費補助ノ請願

第二十一 萬國博覽會開設準備ノ爲官民合同委員會設置ニ關スル請願

第二十二 日本郵船株式會社航路補助繼續ノ請願

第二十三 北海道雨龍増毛間鐵道ノ請願

第二十四 質屋取締法修正ノ請願

第二十五 渡良瀨川沿岸地方特別地價再修正ノ請願

第二十六 足尾銅山鑛毒處分ノ請願

第二十七 北海道市街地地價修正ノ請願

第二十八 町村立小學校尋常科正教員俸給補助ノ請願

第二十九 質屋取締法修正ノ請願

第三十 沖繩縣宮古八重山兩郡民選舉ニ關スル請願

第三十一 平元鐵道敷設ノ請願

第三十二 新聞販賣業ニ對スル營業稅免除ノ請願

第三十三 織物消費稅ニ關スル請願

第三十四 區裁判所管轄變更ノ請願

第三十五 市街地地價修正ニ關スル請願

第三十六 渡良瀨川沿岸地方特別地價修正ノ請願

第三十七 渡良瀨川沿岸地方特別地價修正ノ請願

第三十八 凶作被害地窮民食料給與ノ請願

第三十九 普通教育費國庫補助ノ請願

第四十 帝國總領事館移轉ノ請願

第四十一 庄内川改修ノ請願

第四十二 地價修正ニ關スル請願

第四十三 新莊酒田間鐵道速成ノ請願
第四十四 口羽郵便局ニ電線架設ノ請願

會議
會議

○議長(公爵德川家達君) 諸般ノ報告ハ省略イタシマシテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

「左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス」

一昨二十二日本院ニ於テ議決シタル左ノ法律案ハ即日裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ヘ通知セリ

鹽專賣法中改正法律案

蠶病豫防法中改正法律案

同日本院ニ於テ議決シタル貯蓄銀行法案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

同日本院ニ於テ採擇ヲ議決シタル宅地地價修正ノ請願外十七件ノ請願ハ各意見書ヲ付シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日屯田兵土地給與規則廢止法律案外一件特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵大村 純雄君 副委員長 男爵相浦 紀道君

同日明治二十九年法律第六十三號ニ代ルヘキ法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 公爵二條 基弘君 副委員長 伯爵柳澤 保惠君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治三十八年法律第十七號中改正法律案

明治三十三年法律第七十五號中改正法律案

明治三十三年法律第七十六號中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

東京市制案

齒科醫師法案

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

輸出羽二重精練業法案

貨幣法中改正法律案

昨二十三日農工銀行補助法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵鳥居 忠文君 副委員長 男爵本多 政以君

同日工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵柳原 義光君 副委員長 淺田 德則君

同日立竹木ニ關スル法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 名村 泰藏君 副委員長 富井 政章君

同日醫師法案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵廣澤 金次郎君 副委員長 子爵堤 功長君

同日債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵大田原 一清君 副委員長 馬屋原 二郎君

同日紙幣類似證券取締法案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵本莊 壽巨君 副委員長 兒島 惟謙君

同日質屋取締法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 谷 森 眞男君 副委員長 馬屋原 彰君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

關稅定率法改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

屠場法案

明治三十八年法律第七十號中改正法律案

民事訴訟法中改正法律案

明治三十三年法律第八十六號中改正法律案

○議長(公爵德川家達君) 本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、請願委員長報告

「三宅秀君演壇ニ登ル」

○三宅秀君 請願委員會ノ報告ヲ致シマス、去ル二十二日ノ議事散會後ニ請願委員會ヲ開キマシテ四十二件ニ就キマシテ議シマシタ、其内二十三件ハ院議ニ付スベシト云フコトニ決シマシタ、院議ニ付スルヲ要セズト致シマシタモノガ十六件ゴザリマス、ソレカラ決シキリマセヌデ居リマス分ハ三件ゴザリマス、此二十二日カラ昨日マデ僅カ二日間ニ受領イタシマシタ所ノ請願ノ數ハ十六件ゴザリマシテ、通數デ六十五通ゴザリマス、文書表ハ第九回ノ文書表ヲ此週ノ中ニ差出スベキデゴザリマスガ、今日マデニ差出スコトニ致シマス、特別報告ハ第七號ヲ提出イタシテ置キマシテゴザリマス、ソレダケガ此二日間ノ請願委員會ノ仕事デゴザイマス、序デニ一言イタシテ置キマスルガ、此會期切迫イタシテ居リマスルニモ拘ラズ、二日間ニ六十五通ノ請願ガ玆ニ受取ラレルコトニナリマシテゴザリマス、若シ請願ヲ貫カシメムトスルナラバ、成ルベク早クカラ請願シサウデアリマスルノニ、斯ク會期ガ切迫イタシマシテカラ、續々請願書ヲ出シテ參リマス、實ニ數通ノ請願書ガ出テ居リマス中ニハ或ハ身分年齡等ノ脫漏ガゴザリマシタリ致シマシテ、式ニ適ハスデ居ルモノガゴザイマス、成ルベク請願者ノ意思ヲ貫カシメムガ爲ニハ有ラユル手段方法ヲ用井マシテ訂正サセマシテ、式ニ適フヤウニシテ受取ルヤウニ是マデ致シテ居リマス、又受取リマシタ請願ヲ力メテ慎重ニ調査イタシマスルノハ我々委員ノ務デゴザリマセウガ、兎角請願ヲ致シテ參リマスル者ニハ粗漏勝チデゴザリマシテ、式ニ適ハヌヤウナモノヲ出シテ參リマシタリ、或ハ斯ク會期切迫イタシテ居リマスルノニ續々出シマシタリ、甚シキハ議長ノ御名前ヲ充テマシテ紹介議員ノ手ヲ經ズニ唯郵便デ送達シテ來ル者サヘモアルノデゴザリマス、如何ニモ請願者ガ請願スル所ノ誠意ニ缺ケタ所ノ所業ト考ヘマスルガ、併シ請願ト云フモノハ斯ノ如キ有様デゴザイマスカラ、チヨット請願委員會ノ景況ヲ御報道イタシマスル上ニ一言付シテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二ニ移リマス、明治三十八年法律第十七號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ省略ヲ致シテ御異存ゴザイセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

〔左ノ提出文及議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ玆ニ載録ス以下之

ニ徴フ

明治三十八年法律第十七號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十九年三月二十二日

衆議院議長杉田定一

貴族院議長公爵德川家達殿

明治三十八年法律第十七號中改正法律案

第一條中「七百萬圓」ヲ「千六百萬圓」ニ、「五百五十萬圓」ヲ「千二百萬圓」ニ

改ム

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此法律案ハ煙草ノ製造ニ要シマスル資金竝ニ製鐵所ノ資金ヲ融通證券ニ依ッテ補フコトニナッテ參ルノデゴザイマスルガ、既定ノ制限ニ致シマシテハ段々事業ノ擴張進步ニ伴ヒマシテ不足ヲ感ジマスルノデ、即チ本案ニ掲ゲマシタ通りニ制限ヲ擴張イタシタイト云フ趣意デゴザリマス、御協賛ヲ仰イデ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセスケレバ次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、委員ノ選定ハ議長ガ致シマシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無イト認メマス、直ニ指名イタシマス

○宮本小一君 委員會ノ方ヘ出席イタシタウゴザイマス

明治三十八年法律第十七號中改正法律案特別委員

侯爵池田 詮政君	子爵山内 豐誠君	子爵鍋島 直柔君
子爵樋口 誠康君	男爵野村 素介君	男爵德川 厚君
古莊 嘉門君	加藤 正惠君	岩月 直彦君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第四ニ移リマス、明治三十三年法律第七十五號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ省略イタシテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 序デニ申上ゲテ置キマスガ、本日ノ議案ノ朗讀ハ皆省略イタシテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

明治三十三年法律第七十五號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十九年三月二十二日

衆議院議長杉田定一

貴族院議長公爵德川家達殿

明治三十三年法律第七十五號中改正法律案

明治三十三年法律第七十五號中左ノ通改正ス

第一條中「臺灣」ノ下ニ「又ハ樺太」ヲ加フ

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ノ規定ハ本法施行ノ際現ニ樺太ニ在勤スル者ニ關シテハ本法施行前ヨリノ在職月數ニモ之ヲ適用ス

〔政府委員石本新六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石本新六君) 本案ハ樺太ニ在勤スル官吏ノ恩給上ノ加算ヲ臺灣ト同様ニシタイト云フ簡單ナ案デゴザイマス、ドウゾ御審査ノ上、御協賛アラムコトヲ願ヒマス

○侯爵細川護成君 是ヨリ郡制廢止法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 細川侯爵ノ要求通りニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異存ナイト認メマスカラ許シマス

〔侯爵細川護成君「ドウゾ委員ノ御方ハ委員室ニ御集マリヲ願ヒマス」ト述ブ〕

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセスケレバ議事日程第五ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、特別委員ノ選定ハ議長ガ致シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直ニ指名ヲ致シマス

〔仙石書記官朗讀〕

明治三十三年法律第七十五號中改正法律案特別委員

侯爵大炊御門幾麿君 伯爵島津忠亮君 子爵山本實庸君

子爵山口弘達君 男爵玉松眞幸君 松本鼎君

吉野周太郎君 田代保之君 五藤正形君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第六ニ移リマス、明治三十三年法律第七十六號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

明治三十三年法律第七十六號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十九年三月二十二日

衆議院議長杉田定一

貴族院議長公爵德川家達殿

明治三十三年法律第七十六號中改正法律案

第一條中「臺灣」ノ下ニ「又ハ樺太」ヲ加フ

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ノ規定ハ本法施行ノ際現ニ樺太ニ服役スル者ニ關シテハ本法施行前ヨリノ服役月數ニモ之ヲ適用ス

〔政府委員石本新六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石本新六君) 本案モ前案ト同様ニ樺太ニ在勤イタシテ居リマス

ル軍人ノ恩給ノ年限加算ヲ臺灣同様ニシタイト云フ極ク簡單ナル案デゴザイ

ル軍人ノ恩給ノ年限加算ヲ臺灣同様ニシタイト云フ極ク簡單ナル案デゴザイ

ル軍人ノ恩給ノ年限加算ヲ臺灣同様ニシタイト云フ極ク簡單ナル案デゴザイ

ル軍人ノ恩給ノ年限加算ヲ臺灣同様ニシタイト云フ極ク簡單ナル案デゴザイ

ル軍人ノ恩給ノ年限加算ヲ臺灣同様ニシタイト云フ極ク簡單ナル案デゴザイ

ル軍人ノ恩給ノ年限加算ヲ臺灣同様ニシタイト云フ極ク簡單ナル案デゴザイ

ル軍人ノ恩給ノ年限加算ヲ臺灣同様ニシタイト云フ極ク簡單ナル案デゴザイ

ル軍人ノ恩給ノ年限加算ヲ臺灣同様ニシタイト云フ極ク簡單ナル案デゴザイ

マス、御審議ノ上、速ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第七、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、此特別委員ノ選定ハ議長ガ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 是ハ議事日程第四ノ法案ノ特別委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ議事日程第八デゴザイマスガ、第八ヨリ第十三マデ同一委員ニ付託シテゴザイマスカラ、委員長ノ報告ハ東ネテ煩ハシテ宜カラウト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第八、明治三十七年度豫備金支出ノ件承諾ヲ求ムル件、政府提出、衆議院送付、會議、特別委員長報告

一明治三十七年度豫備金支出ノ件

一明治三十七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一明治三十七年度特別會計豫備金支出ノ件

一明治三十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一明治三十七年度清國事件第二豫備金支出ノ件

一明治三十七年度臨時事件豫備費支出ノ件

右承諾スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十九年三月二十日

右特別委員長

子爵竹内 惟忠

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵竹内惟忠君演壇ニ登ル〕

○子爵竹内惟忠君 本案ノ委員會ニ於キマスル審査ノ模様ノ大體ヲ御報告イ

タシマス、右議案ハ去ヌル十九日並ニ二十日ノ兩日ヲ以テ開キマシテ、支出ノ各條ニ付キマシテ種々質問等モゴザイマシタガ、大體上此六ツノ承諾ヲ求メマスル件ニ付キマシテハ格別不都合ノ點モ見出シマセヌデ、全部衆議院送付ノ通り承諾ヲ與フベキモノト議決イタシマシタ、此段御報告ヲ致シマス、尙ホ此支出ノ各條ニ付キマシテ御不審等ガゴザイマスレバ政府委員ノ方ニ御質問アルヤウニ願ヒタウゴザイマス、此段御報告ヲ...

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ゴザイマセヌケレバ、問題ニ供シマスルニモ第八ヨリ第十三マデ東ネテハ如何デゴザイマセウカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ東ネテ問題ニ供シマス、全部委員長報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十四、癩兵院法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

癩兵院法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十九年三月二十二日

右特別委員長

伯爵吉井 幸藏

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵吉井幸藏君 癩兵院法案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此法案ハ此理由書ニ書イテゴザイマス通り、負傷者ニシテ... 戰闘ニ從事イタシマシテ傷痍ヲ受ケ又ハ戰闘若ハ公務ノ爲ニ傷痍ヲ受ケテ疾病ニ罹リ不具癩疾トナリマシタ者デ、救護者ノ無イ即チ扶養者ノ無イ者ヲ癩兵院ニ收容イタシマシテ、國費ヲ以テ之ヲ救護スルト云フ法案デアルノデアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ種々御質問モゴザイマシタ、又御意見等モゴザイマシタガ、其御意見ハ多クハ此法案ヲ其負傷者ノ爲ニ... 癩兵院ニ收容スル者ノ爲ニ成ルベク都合ヨク此上ニモ尙ホ好ク致シタイト云フヤウナ趣意ノ御

意見デゴザイマス、併シ段々政府委員ノ御説明ヲ委シテ承リマシテ先ヅ此度ハ此法案通りデ宜カラウト云フコトデ全會一致ヲ以テ可決スベキモノト決議イタシマシテゴザイマス、ソレカラ此第三條ニ付キマシテ段々御質問ガゴザイマシタ、癩病院ニ這入ル者ハ恩給ヲ停止スルト云フノデアリマス、癩病院ニ這入ッテ恩給ヲ停止サレテ全ク金ヲ給與スルコトハ無ギヤト云フ質問モゴザイマシタガ、是ハ矢張り從前受ケテ居リマシタ恩給ノ幾分ヲ、將校ニ於キマシテハ、從前ノ恩給ノ五分ノ二、下士以下ニ於キマシテハ五分ノ一クラ并ヲ給與スルト云フコトデゴザイマシタ、大體ニ於キマシテ此法案ハ誠ニ結構ナ法案デアルト云フコトデ、今申上ゲマシタ通り全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デゴザイマスカラ、本院ニ於キマシテモ、ドウゾ讀會ヲ省略サレテ速ニ御決議アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵大原重朝君 讀會省略賛成

○男爵川口武定君 賛成

○黒岡帶刀君 賛成

○名村泰藏君 賛成

○松本鼎君 賛成

○男爵石黒忠憲君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○男爵松平正直君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 吉井伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ定規ノ賛成者ガアツタト認メマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、特別委員長ノ報告通り

御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十五、軍人恩給法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

軍人恩給法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也
明治三十九年三月二十二日

右特別委員長

伯爵吉井 幸藏

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵吉井幸藏君 軍人恩給法中改正法律案特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此案ノ改正ノ趣意ハ軍人ノ増加恩給トソレカラ賑恤金ヲ増加スルト云フノデアリマシテ、其理由ハ即チ今日ノ額デハ不十分デアル、軍人ノ名譽ヲ保持シ他ノ厄介ニナラナイヤウニスルニハ其額ヲ増サヌケレバナラス、増スノ必要ガアルト云フノデアリマス、ソレデ此第六條中ニ改正ガアリマシテ「四十年」ヲ「五十年」ニ致スコトニナッテ居リマス、軍人ノ恩給ハ其恩給ヲ受クベキ理由ノ生ジマシタキノ官等ニ取リ、ソレカラ服役ノ年限數ニ依リマスノデ、キマリニ依ッテ支給サレルノデアリマスルガ、四十年現役ニ居リマス者モ四十五年居リマシタ者モ皆マデハ四十年ノ額デ給與サレテ居ルノデアリマス、段々度々ノ戰役モアリマスルシ、從ッテ此現役ニ加算モ致シマスルカラ、四十年以上現役ニ服シテ居ル者ガ段々澤山出來テ參リマス、從ッテ此四十年ヲ十箇年上ゲマシテ五十年マデノ恩給ヲ更ニ定メラレタノデアリマス、從來四十年ノ標準ニナッテ居タ者ガ此改正ニ依リマシテ、四十五年勤メマシタ者ハ四十五年ノ恩給ヲ貰フ、四十九年ハ四十九年ノモノヲ貰フ、五十年以上ニナルト從來四十年デアッタノガ今度ハ五十年ノ額ヲ貰フト、斯ウ云フコトニナリマスルノデゴザイマス、ソレカラ第九條ニ於キマシテハ此「二肢以上」トアッタノヲ「二肢」トナリマシタノハ、是ハ増加恩給ノ方デゴザイマシテ、從來ハ兩眼ヲ盲シ若ハ其上ニ手ヲ失ヒ足ヲ失ヒシタ者ニハ矢張り兩眼ヲ失ッタ者ト同ジャウニ支給サレテアッタノデアリマス、此度ノハ兩眼ヲ盲シ若ハ二肢ヲ失ッタ者ヲ最高ノ標準トシマシテ、其上ニ手若ハ足ヲ失ッタ者ハソレニ對シマシテ更ニ恩給ヲ増加スル、斯ウ云フ方ニナッテ居リマスノデゴザイマス、是モ誠ニ適當ナ改正ト認メマシタ、ソレカラ第十四條ハ從來ハ此賑恤金ト云フモノハ一時金デアリマシテ從來ハ免除恩給、即チ下士以下ニ於キマシテ恩給ヲ受ケル者ニハ其賑恤金ト云フモノハ遣ラナ

カッタノデアリマス、併ナガラ是モ一時恩給ハ受ケルケレドモ一時救助スル
ノガ甚ダ困難デアラウト云フヤウナ譯デ、是モ恩給ヲ受ケル者ニモ此免除恩
給即チ下士以下ノ者ニハ矢張り賑恤金ヲ遺ルト云フコトニナリマシタノデ
ゴザイマス、十五條モ矢張り此賑恤金ノ支給ノコトデアリマスガ、是ハ十三
箇年ト云フノヲ十箇年ニナリマシタノハ、此表ノ方ガ金額ガ増シマスノデ、
ソレデ前ノ金額ガ増シタ上ニ從前ノ十三箇年分ト云フコトニ致シマスルト大
變ニ額ガ殖エル、ソレデ是ハ金額ノ方ガ増シテ來ルカラ、標準ニナル方ガ
増シテ來ルカラシテ十年ニシテ宜カラウト云フノデ十年ニナッタノダサウデ
アリマス、其結果ハ十年ニ致シマシテモ從前ノ表ノ金額ニ依ッテ從前ノ年限デ
計算スルヨリ多クナルノデ、詰リ矢張り良クナッタノデアリマス、斯様ナ次
第デゴザイマシテ總テ此改正ハ此恩給ヲ受ケル者ニ就キマシテ良クナリマシ
タ譯デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テマシテ原案通り
可決スベキモノト議決イタシマシタヤウナ次第デアリマスカラ、本院ニ於キ
マシテモ速ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス、即チ讀會省略ヲ以テ可決ア
ラムコトヲ希望イタスノデアリマス

○南郷茂光君 讀會省略ニ賛成

○男爵川口武定君 讀會省略ニ賛成

○名村泰藏君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○男爵石黒忠恵君 賛成

○磯邊包義君 賛成

○松本鼎君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○男爵松平正直君 賛成

〔其他〕賛成〔ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 吉井伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ定規ノ賛成者ガアッ
タト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異存ガゴザイマ
セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十六、農工銀行補助法中改正法律案、
政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

農工銀行補助法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十九年三月二十三日

右特別委員長

子爵鳥居 忠文

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵鳥居忠文君演壇ニ登ル〕

○子爵鳥居忠文君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、昨日正副委
員長ノ互選ヲ致シマシテ、引續イテ會議ヲ開キマシタ、例ニ依リマシテ政府
委員ノ説明ヲ承リマシテ、我々ハ色々質問ヲ致シマシテ、政府委員カラハ右ニ
對シマシテ明瞭ナル説明ヲ承リマシテ、本案ハ全會一致ヲ以テ可決イタシマ
シタ、其大體ヲ申述ベマスレバ此法案ハ農工銀行ニ對スル補助期間ガ來年デ
滿チマスカラシテ尙五箇年延長シテ農工銀行ヲ補助スルト云フ法案デアリマ
ス、其補助ヲ必要トスル事柄ヲ極簡單ニ申上ゲマスレバ、戰後ノ經營ヲ致シ
マスル今日ニ當リマシテ、農工銀行ハ出來得ル限り低利ニ致シマシテ貸出金
ヲシテ、サウシテ農工業ノ改良發達ヲ圖リ國本培養ノコトニ貢獻スルト云フ
コトハ、是ハ農工銀行ノ本分デハゴザイマセウケレドモ、補助年限ガ明年デ
盡クルト云フコトニナリ、株主配當ニモ影響ヲ及ボスト云フ恐ガアルカラシ
テ、農工銀行ハ十分ノ働キモ出來スト云フコトニナリマスノデアリマス、ソ
レ故ニ本議會ニ於テ補助年限ヲ延バシマシテ、尙五箇年ノ補助ヲスルト云フ
コトニナリマスレバ、農工銀行ハ低利デ以テ貸出ヲスルト云フコトガ出來マ
シテ、戰後ノ經營ナリ又本年ノ凶作ニ對シマシテ救済ヲスル爲ニ起ル所ノ耕
地整理等ノ事業ニ對シマシテモ、十分ニ低利ニシテ貸出ヲスルト云フコトガ
出來ルヤウナコトニナルデアリマス、ソレ故ニ此補助ヲ與ヘマシテ、サウシ
テ農工銀行ノ働キヲ十分ニサセタイ、若シ此儘ニ致シテ置キマスレバ、株主ノ
配當ト云フモノニモ影響ヲ及ボシテ、配當モ自然減少スルト云フ傾ニモナリ、
從ッテ低利ノ金ヲ貸出スト云フコトモ十分ニ出來スト云フコトニナリマスカ

ラシテ、此補助ト云フモノハ、スルノガ必要デアルト云フコトニ委員會デハ可決イタシタンデアリマス、依リマシテ此法案ハ以上申上ゲマシタヤウナ理由デアリマスカラシテ、本會ニ於テモ可決セラレムコトヲ希望イタシマス、序デニ申上ゲマスガ、唯今申述べマシタヤウナ極簡單ナ案デアリマスカラ、讀會省略御可決ニナラムコトヲ...

○子爵高野宗順君 賛成

○南郷茂光君 賛成

〔其他〕賛成「ト呼ブ者多シ」

○議長(公爵徳川家達君) 讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアッタト認ママス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認ママス、原案御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十七、齒科醫師法案、衆議院提出、第一讀會

齒科醫師法案

右本院提出案及送付候也

明治三十九年三月二十二日

衆議院議長杉田定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

齒科醫師法

第一條 齒科醫師タラムトスル者ハ左ノ資格ヲ有シ内務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス

一 文部大臣ノ指定シタル齒科醫學校ヲ卒業シタル者

二 齒科醫師試験ニ合格シタル者

三 外國齒科醫學校ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ齒科醫師免許ヲ得タル者ニシテ命令ノ規定ニ該當スル者

第二條 左ニ掲クル者ハ免許ヲ受クルコトヲ得ス

一 重罪ノ刑ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシテ復權シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

二 公權停止中ノ者

三 未成年者、禁治產者、準禁治產者、聾者、啞者及盲者

第三條 禁錮ニ處セラレタル者又ハ醫事ニ關シ罰金ニ處セラレタル者ニハ免許ヲ與ヘサルコトアルヘシ

第四條 内務省ニ齒科醫籍ヲ備ヘ齒科醫師免許ニ關スル事項ヲ登錄ス

登錄スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 齒科醫師ハ自ラ診察セスシテ診斷書、處方箋ヲ交付シ又ハ治療ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 齒科醫師ハ帳簿ヲ備ヘ患者ノ氏名、年齢、住所、職業、病名及療法ヲ記載スヘシ

前項ノ帳簿ハ十箇年之間之ヲ保存スヘシ

第七條 齒科醫師ハ其ノ技能ヲ誇稱シテ虛偽ノ廣告ヲ爲シ又ハ祕密療法ヲ有スル旨ヲ廣告スルコトヲ得ス

第八條 齒科醫師ハ齒科醫師會ヲ設立スルコトヲ得

齒科醫師會ニ關スル規程ハ内務大臣之ヲ定ム

第九條 齒科醫師會ハ齒科醫事衛生ニ關シ官廳ノ諮問ニ應シ又ハ建議ヲ爲スコトヲ得

第十條 齒科醫師第二條第一號又ハ第三號ニ該當スルトキハ其ノ免許ヲ取消スヘシ

齒科醫師禁錮ニ處セラレタルトキ又ハ業務ニ關シ罰金ニ處セラレ若ハ不正ノ行為アリタルトキハ免許ヲ取消シ又ハ期間ヲ定メテ齒科醫業ヲ停止スルコトアルヘシ其ノ事免許前ニ係ル場合亦同シ

本條ノ取消處分ヲ受ケタル者ト雖第二條第三號ノ原因止ミタルトキ又ハ改悛ノ情顯著ナルトキハ再免許ヲ與フルコトアルヘシ

本條ノ處分ハ内務大臣之ヲ行フ但シ第二項及第三項後段ノ場合ニ於テハ中央衛生會ノ審議ヲ經ルコトヲ要ス

第十一條 免許ヲ受ケスシテ齒科醫業ヲ爲シタル者、停止中齒科醫業ヲ爲シタル者又ハ第五條、第六條若ハ第七條ニ違背シタル者ハ三百圓以下ノ

罰金ニ處ス

附則

第十二條 本法ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
第十三條 本法施行前ノ齒科醫術開業免狀ハ本法施行ノ後ト雖仍其ノ效力ヲ有ス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセヌカラ議事日程第十八ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、是ハ醫師法案ノ委員ニ付託シテハ如何デゴザイマセウカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十九、議院法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

議院法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十九年三月二十二日

右特別委員長

子爵平松 時厚

貴族院議長公爵德川家達殿

「子爵平松時厚君演壇ニ登ル」

○子爵平松時厚君 此案ノ委員會ノ經過ヲ御報告ヲ致シマス、此案ハ皆サンモ御承知ノ如ク衆議院カラ出マシテ、即チ議院法ノ第四十條ノ豫算委員ノ先議權ノ日限ガ十五日ト限ッテアルノヲ二十一日ニシタイ、六日間延バスト云フ案デアリマス、乃チ二十二日ニ開キマシテ先ヅ政府ノ意見ヲ聽キマシタ所ガ、政府ニ於キマシテハ成ルベク憲法附屬ノ法案デモアルシ……トモ言フベキモノデアルカラ、成ルベク改正ハ忍ビナイト、サリナガラ又時勢ノ進歩ト共ニ段々豫算モ浩瀚ニナルコトデアルカラ強ヒテ之ニ又不同意ヲスル程ナコトデモナイ、併ナガラ延ビルト隨分困ルコトハ、各政府委員モ皆出ヌナラズ、又他ノ法案モアルカラ成ルベクハ好マナイコトデアルケレドモ、少シノコト

デアルカラ宜カラウ、斯ウ云フコトデアリマシタ、委員會ニ於キマシテハ反對論者モアリマシテ、即チ唯今述ベマシタ憲法附屬ノ法案デアルカラ、成ルベク改正ハ好マナイ、又理由トシテ、既ニ十數年此十五日間デ差支ナイノデアアル、又隨分勉強スレバ十日間モアレバ、隨分調ベラレルデアラウ、然ルニ何ゾ六日間ヲ延バシタカラト云ウテ、ソレガ爲ニ早クナルト云フ譯デモナイシ、又將來モ一度ナリ二度ナリ差支ガ出來タト云フ場合ガアレバ、已ムヲ得ズ改正セヌナラヌケレドモ、先ヅ今日ノ場合ニ至ルマデモ差支ナイカラ、即チ是ハ否決スベキモノデアルト云フ論旨デアリマシタ、贊成ノ委員モアリマシタ、是ハモウ矢張り追々豫算モ浩瀚ニナルシ、世ノ進歩ト共ニ種々ノ何モアラウカラ、成ルベク……澤山ノ日數デナイカラ六日間ノコトユエ宜カラウ、斯ウ云フ議論デアリマス、遂ニ六人ノ多數デ否決ニ相成リマシテゴザイマス、右ノ次第デゴザイマス、御報告イタシマス

「男爵菊池大麓君演壇ニ登ル」

○男爵菊池大麓君 諸君、唯今此議院法ノ改正ニ付キマシテ委員長ノ報告ガゴザイマシタ、委員會ニ於カレマシテハ憲法附屬ノ法案デアル故ニ、改正ハ成ルベク鄭重ニスベキモノデアルカラシテ、此際先ヅ否決シテ置カウト云フ御趣意デアッタヤウニ伺ヒマス、如何ニモ憲法附屬ノ法律ノ改正ハ慎ムベキコトデアルト云フコトニ於テハ、委員諸君ノ御考ヘハ至極御尤モデ、本員ニ於テモ是非サウナゲレバナラヌコトデアルト考ヘマスルシ、又此貴族院ハ此事ニ於テハ餘ホド鄭重ニスルト云フコトヲ力メテ居ルノデアリマスル、サリナガラ議院法附屬ノ法律デアルカラト云ッテ、一切改正ヲシナイト云フ譯デハナカラウト思ヒマスル、年々是マデ衆議院デハ十五日デ數年、十數年差支ナイノデアルト言ハレマシタケレドモ、是ハ法律デ決メテアリマスルカラ、十數年間已ムヲ得ズ十五日デ調査ヲ致シ來ッタノデアッテ、決シテ差支ガ無カタノデハナイ、差支ヘテ甚ダ困ルカラ此改正案ガ即チ出タノデアルト考ヘルノデアリマス、デ今日此貴族院ニ於キマシテハ如何デアルカト云ヒマス、貴族院ニ於キマシテハ御承知ノ通り本議場ニ於テ審査期限ヲ定メルノデアリマス、而シテソレハ本年モ左様デアリマスシ、昨年モサウデアッタヤウニ、大概近頃毎年ノ例トシテ三週間ト云フコトニナッテ居ルノデアリマスル、本院ニ於テ三週間ガ必要デアルカラ豫算委員長ガ三週間ト云フコトヲ、イツデモ提議シテ、ソレ

ガ御許可ニナルコトデアラウト考ヘマス、然ラバ衆議院ニ於テ十五日ノモノヲ二十一日トスルト云フコトハ是ハ無理ノ無イ改正デアルト本員ハ考ヘマス、ソレ故ニ本員ハ甚ダ委員諸君ノ御説ニ反對スルノハ不本意デアリマスガ、是ハドウモ衆議院ノ提出ノ通り修正ヲシテ然ルベキモノト考ヘマス、ドウゾ諸君ニ於カレマシテモ委員ノ決議ニ反對シテ原案ヲ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○中島永元君 本員モ此案ノ特別委員ノ一人デアリマスガ、委員會ニ於テ本員ハ賛成ノ意見ヲ申シマシタケレドモ、多數ノ爲ニ遂ニ否決ニナリマシタ、今菊池男爵ヨリ本案賛成ノ説ガ出マシテ、本員モ殊ニ賛成デアリマスルガ、既ニ貴族院デハ三十二年デアリマシタカ、此議院法ニ就テ改正ヲ賛成シタコトガアリマス、此歳費ヲ増シタコトデアリマス、ソレデ其例モアリマスヤウナ譯デ、決シテ憲法附帶ノ法律デアルト云フコトデ否決スルト云フコトハ謂ハレナイコトト思ヒマス、二讀會ニ移スコトヲ希望イタシマス

○子爵曾我祐準君 菊池男爵ニ賛成ヲ致シマス

○關義臣君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○子爵錦織教久君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御注意イタシマスガ、是ハ賛成者ハ要シマセヌノデアリマス、採決イタシマス、本案ヲ二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス、是デ第一讀會ハ終リマシタ

○男爵菊池大麓君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

〔賛成「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開ク...

〔二讀會「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 議長ハ誤リマシタ、直ニ第二讀會ヲ開クト云フ説ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス、直ニ第二讀會ヲ開キマス

〔異議ナシ「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 原案ニ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス、是デ第二讀會ヲ終リマシタ

○男爵菊池大麓君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ...

〔賛成「ト呼ブ者多シ」

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○平山成信君 此際チヨット動議ヲ提出シタウゴザイマス、今ノ案ハ三讀會ハ濟ミマシタカ

○議長(公爵德川家達君) モウ一遍...

○平山成信君 三讀會ハ...

○議長(公爵德川家達君) 全部濟ミマシタ

○平山成信君 ソレデハ關稅定率ノ改正案ガ衆議院カラ本院ニ回ッテ居リマス、アノ案ハ頗ル重要ナモノデアッテ且ツ條數モ多イモノデゴザイマスカラ、會期切迫ノ際成ルベク早ク委員ニ御付託ニナッテ審査スルヤウニ致シタイト存ジマス、此際諸君ノ御同意ヲ得テ、議事日程ニアノ法案ヲ追加シテ第一讀會ヲ開カレテ速ニ委員ニ御付託ニナラムコトヲ希望イタシマス、議事日程追加ノ動議ヲ提出イタシマス

〔賛成「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 平山成信君ノ議事日程追加ノ動議ニ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ハ無イト認メマス、然ラバ關稅定率法改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、通牒文ヲ朗讀イタサセマス

〔仙石書記官朗讀〕

關稅定率法改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十九年三月二十三日

衆議院議長杉田定一

貴族院議長公爵德川家達殿

關稅定率法

〔小字ハ修正、ハ削除ノ符號〕

第一條 外國ヨリ輸入スル物品ニハ別表ニ依リ輸入税ヲ課ス

第二條 從價税ニ代フルニ從量税ヲ以テスルヲ便宜トスル物品ニ付テハ六箇月以上ノ平均價格ニ依リ換算シ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ從量税率ハ物品ヲ細別シ又ハ風袋込ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三條 協定税率ノ適用ヲ受ケサル地域ノ生産品ニ對シ必要アルトキハ勅令ヲ以テ地域及物品ヲ指定シ協定税率ヲ下ラサル範圍内ニ於テ税率ヲ定ムルコトヲ得

第四條 本邦ノ船舶又ハ生産品ニ對シ他國ノ船舶又ハ生産品ヨリモ不利益ナル取扱ヲ爲ス國ノ生産品ニ對シテハ勅令ヲ以テ物品ヲ指定シ有税品ニハ本法ニ定メタル税率ト同額以下ノ附加税ヲ課シ無税品ニハ從價五割以下ノ輸入税ヲ賦課スルコトヲ得

第五條 外國ニ於テ輸出獎勵金ヲ受クル物品ニハ勅令ヲ以テ獎勵金ト同額ノ附加税ヲ課スルコトヲ得

第六條 從價税品ノ課税價格ハ生産地若ハ仕入地ニ於ケル原價ニ荷造費、運送費、保險料其ノ他輸入港ニ到著スル迄ノ諸費ヲ加ヘタルモノトス但シ原價及諸費ニ疑アルトキハ物品ノ輸入港ニ於ケル價格ヨリ輸入税ヲ控除シタルモノヲ以テ課税價格トス

第七條 左ノ物品ニハ輸入税ヲ免ス

一 御料品

二 本邦ニ來遊スル外國ノ元首、其ノ一族又ハ其ノ從者ニ屬スル物品
三 陸海軍ノ輸入ニ係ル兵器、彈藥及爆發物

四 軍艦

五 本邦ニ派遣セラレタル外國ノ大使又ハ公使ニ屬スル自用品

六 本邦在住者ニ贈與スル勳章、賞牌及記章

七 記錄文書其ノ他ノ書類

八 官立公立ノ學校、博物館、物品陳列所其ノ他ノ營造物ニ陳列スル標本又ハ參考品トシテ輸入スル物品

九 慈善又ハ救恤ノ爲ニ寄贈スル物品

十 政府ノ輸入ニ係ル政府ノ專賣品

十一 商品ノ見本但シ見本用ニノミ適スルモノニ限ル

十二 旅客ノ用具及旅客ノ職業上必要ナル器具但シ旅客ノ身分ニ相當スルモノニシテ稅關力適當ト認メタルモノニ限ル

十三 在外軍隊及軍艦ヨリ送還セル物品

十四 個人ニ屬スル引越荷物但シ既ニ使用セラレタルモノニ限ル

十五 輸出シタル物品ニシテ五箇年以内ニ輸入セラレ輸出ノ時ノ性質及形狀ヲ變セサルモノ但シ酒精、酒類、砂糖及第八條第九條ニ依リ輸入税ノ免除又ハ拂戻ヲ受ケタル物品ヲ除ク

十六 命令ヲ以テ指定シタル輸出貨物ノ容器ニシテ再輸入スルモノ

十七 本邦ヨリ出漁セル船舶ヲ以テ捕獲採取シタル魚介類、海獸、海藻其ノ他ノ水産物及其ノ製品ニシテ工程ノ簡單ナルモノ但シ當該船舶又ハ之ニ附屬セル船舶ヲ以テ輸入シタルモノニ限ル

十八 外國航行ノ艦船ニ船用ノ爲開港内ニ於テ引渡ス物品

十九 難破シタル本邦船舶ノ解體材及艤裝品

二十 本邦ヨリ出港シタル船舶ニ搭載シタル輸出貨物ニシテ該船舶難破

シタル爲積戻リタルモノ
二十一 國、府縣、市町村其他ノ公共團體ノ輸入スル種馬、種牛及種豚

第八條 左ノ物品ニシテ輸入ノ日ヨリ六箇月以内ニ再ヒ輸出スルモノニハ

輸入税ヲ免ス但シ輸入ノ際税金ニ相當スル擔保ヲ提供スルコトヲ要ス

一 加工ノ爲輸入スル物品ニシテ勅令ヲ以テ指定シタルモノ

二 修繕ノ爲輸入スル物品

三 學術研究旅行者使用ノ爲輸入スル物品

四 試験品トシテ輸入スルモノ

五 演劇其ノ他興行用ノ爲輸入スル物品

第九條 輸入原料品ヲ用井命令ヲ以テ指定シタル物品ヲ製造シ之ヲ外國へ輸出シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ輸入税ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得

輸入原料品ヲ用井命令ヲ以テ指定シタル肥料ヲ製造シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ輸入税ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得

詐偽又ハ不正ノ所爲ヲ以テ前項ノ拂戻金ヲ得又ハ得ムトシタル者ハ關稅法第七十五條ノ例ニ依リ處分ス

第十條 左ニ掲クル物品ハ輸入ヲ禁ス

一 阿片及阿片吸煙具(政府ノ輸入スルモノヲ除ク)

二 偽造、變造又ハ模造シタル貨幣、銀行券及帝國政府發行ノ證券

三 公安又ハ風俗ヲ害スヘキ書籍、圖畫、彫刻其ノ他ノ物品

四 特許、實用新案、意匠、商標及著作權ヲ侵害スル物品

五 法令ニ依リ輸入ヲ禁止セラレタル物品

附則

第十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 米及穀輸入税ヲ除クノ外非常特別稅法第二條及第三條中輸入税ニ關スル規定並明治三十三年法律第八十五號及第八十六號ハ之ヲ廢止ス

(別表)

輸入税表

番號

品名

單位

稅率

第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)

一 植物及苗根(栽植用ノミニ適スルモノ)

二 馬

三 牛

四 綿羊及山羊

五 豚

六 家禽類

七 魚介類

八 蜜蜂

無稅

五割

二割五分

二割五分

二割五分

三割

一割

九 其ノ他ノ動物

第二類 穀物及種子

一〇 米及粳

一一 大麥

一二 小麥

一三 オート

一四 粟

一五 大豆

一六 小豆

一七 蠶豆

一八 綠豆

一九 豌豆

二〇 胡麻子

二一 荳蔻子

二二 菜子

二三 棉子

二四 其ノ他ノ穀物及種子

第三類 飲食物

二五 蔬菜(砂糖、糖蜜、糖水又ハ蜂蜜ヲ以テ貯藏シタルモノヲ除ク)

一 罐詰ノモノ

二 罐詰又ハ壺詰ノモノ

三 罐詰、罐詰又ハ壺詰ニ非サルモノ

甲 生

乙 乾

丙 其ノ他

二六 果實及核子(砂糖、糖蜜、糖水又ハ蜂蜜ヲ以テ貯藏シタルモノヲ除ク)

一 罐詰、罐詰又ハ壺詰ノモノ

二 罐詰、罐詰又ハ壺詰ニ非サルモノ

同

每百斤

每百斤

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

二割五分

無稅

〇・四五

〇・五七

〇・四七

〇・四一

〇・四三

〇・四五

〇・三七

〇・四四

〇・三八

〇・七九

〇・八六

〇・五一

〇・二〇

一割五分

七・三〇

四割

一・一五

四・一〇

三割

四割五分

四割五分

四割五分

四割五分

四割五分

四割五分

四割五分

四割五分

二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六															
茶	一 紅茶	二 紅茶粉	三 其ノ他	珈琲	チコリ	ココロ	香料料	一 胡椒	甲 種子	乙 粉	二 カリー粉	三 マスタード	四 其ノ他	穀粉及澱粉類	一 小麥粉	二 オートミール	三 コーンミール	四 タピオカ及マニョカ	五 其ノ他	ビスケット(菓子製ニ非サルモノ)	マカロニー、パトミセリト其ノ他各種	麵類	果汁(砂糖ヲ加ヘサルモノ)	ソース
同	從	從	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
每	每	每	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價
四、〇〇	八、一〇	六、五〇	四割	二〇、〇〇	二七、五分	四割五分	一五、〇〇	四割五分	四割五分	二三、〇〇	四割五分	四割五分	一、四五	四、四二	三、八七	一、八〇	三割	一一、〇〇	六、六〇	一二、〇〇	八、二〇			
三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五
食酢	但シ攝氏十五度ニ於テ百立方センチメートル中ニ於ケル純醋酸ノ重量十グラム以上一グラムヲ増ス毎ニーリートルニ付三錢ヲ加フ	鳥獸肉及魚介類	一生鮮ナルモノ	甲 羊肉	乙 其ノ他	二 罐詰、燻詰又ハ壺詰ノモノ	甲 鳥獸肉	乙 魚介類	三 其ノ他	甲 ハム及ベーコン	乙 鹹肉	丙 鹽鯨	イ 尾肉	ロ 其ノ他	戊 鹹魚	己 其ノ他	コンデンスミルク	バター	人造バター	チーズ	肉越幾斯	ペプトン、ソマトーゼ、ヘモグロビン、インファンクトフード其ノ他類似ノ滋養食料	鳥卵(生鮮ナルモノ)	礦水、曹達水其ノ他酒精ヲ含マル諸飲料
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每	每
リートル	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價
〇、一八	七、三〇	三割	九、七五	四、三〇	一四、〇〇	五、五〇	四、五〇	一、四〇	二、〇〇	三割	一〇、〇〇	二七、〇〇	二三、〇〇	一七、〇〇	七七、〇〇	三割五分	五、八〇							

六九 獸毛(羊毛、山羊毛及駱駝毛ヲ除ク)

一 豚毛

二 狸毛

三 馬毛

四 其ノ他

七〇

獸毛

七一

獸骨

七二

獸牙

一 象牙

二 屑象牙

三 海馬牙

四 其ノ他

七三

獸角

一 牛角及水牛角

二 鹿角

三 犀角

四 其ノ他

七四

獸蹄

獸筋

貝殼

鼈甲

一 甲及ツメ

二 屑

三 其ノ他

七八

珊瑚

真珠

海綿

八〇

一 整理シタルモノ

二 其ノ他

八一

其ノ他ノ皮毛骨角齒牙甲殼類(羊毛、山羊毛及駱駝毛ヲ除ク)

第七類 藥材、化學藥、製藥及調劑藥

八二

八三

八四

八五

八六

八七

八八

八九

九〇

九一

九二

九三

九四

九五

九六

九七

九八

九九

一〇〇

一〇一

一〇二

一〇三

一〇四

一〇五

一〇六

一〇七

一〇八

一〇九

ホップ

甘草

泊芙蘭

吐根

人參

一 一斤三十根ヲ超エサルモノ

二 其ノ他

桂皮

規那皮

健質亞那(龍膽)

甘松

大黃

攝綿支奈

セネガ根

麥角

麝香

人造麝香

丁香

沈香

白檀

松脂

阿仙藥及檳榔膏

沒食子及五倍子

亞拉昆亞護謨

トラガカント護謨

沙刺克

阿膠

ゼラチン

魚膠

デキストリン

每百斤

同

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

每百斤

同

二八、九〇

二、三六

四、二六

七七、一〇

三、六〇

〇、七〇

三、五〇

六、五〇

二、七〇

三、五〇

二、九〇

六、九〇

二、五〇

一、八、四〇

一五〇、〇〇

一六、五〇

七、二〇

六二、七〇

四、六〇

〇、六〇

二、〇〇

三、七五

二、九〇

一五、二〇

一七、九〇

二、五八

一八、七〇

二 割

一 割五分

一一〇	黃磷及赤磷	無	一三六	木精	同	三三八
一一一	硼酸	二、九〇	一三七	變性酒精	每リートル	〇、六五
一二二	醋酸	五、六〇	一三八	偏里設林	每百斤	六、五〇
一二三	酒石酸	一三、一〇	一三九	呵囉仿謨	同	二二、〇〇
一二四	撒里矢爾酸	一一、八〇	一四〇	甘精其ノ他類似ノ甘味物	每斤	二〇、〇〇
一二五	石炭酸	六、一〇	一四一	龍腦及艾片	同	三、〇〇
一二六	枸橼酸	一三、〇〇	一四二	安知歇貌林	每百斤	九、五〇
一二七	焦性沒食酸	一三四、〇〇	一四三	安知必林	每斤	〇、八〇
一二八	單寧酸	一四、二〇	一四四	珊篤寧	同	三、〇七
一二九	苛性曹達	〇、六五	一四五	鹽酸規尼涅及硫酸規尼涅	同	二、〇三
一二〇	炭酸曹達(曹達灰)	〇、三五	一四六	鹽酸莫兒比涅及硫酸莫兒比涅	同	八、九〇
一二一	重炭酸曹達	〇、五二	一四七	鹽酸古加乙涅及硫酸古加乙涅	同	二五、〇〇
一二二	硝酸曹達(智利硝石)	無	一四八	鹽酸聖古尼涅及硫酸聖古尼涅	每百斤	三八、五〇
	一 粗製ノモノ	無	一四九	炭酸結麗阿曹篤	同	五二、四〇
	二 精製ノモノ	二 割	一五〇	炭酸グワヤコール	同	九八、六〇
一二三	硼酸曹達(硼砂)	一、三二	一五一	アニリンソルト	同	三五、五〇
一二四	撒里矢爾酸曹達	一二、七〇	一五二	殺蟲粉	同	一五、八〇
一二五	硝酸剝篤亞斯(硝石)	一、八八	一五三	酒精劑(阿片丁幾ヲ除ク)	每リートル	〇、六五
一二六	格魯兒酸剝篤亞斯、青化剝篤亞斯及青	無	一五四	プラスチック	從	三
	化曹達	無	一五五	ガーゼ及綳帶	同	三
一二七	重格魯謨酸剝篤亞斯	二、五三	一五六	膠囊及オブライト	同	二
一二八	貌羅謨剝篤亞斯	一八、八〇	一五七	其ノ他ノ諸藥材、化學藥及製藥	同	二
一二九	炭酸麻堀涅史謨	二、七三	一五八	丸藥、散藥、塗藥其ノ他ノ調劑藥	同	三
一三〇	明礬	〇、四四	一五九	第八類 油、脂及蠟	同	割
一三一	次硝酸蒼鉛	八六、九〇		植物性揮發油	同	割
一三二	鹽化安母紐謨	二、二八		一 桂皮油	每百斤	四五、〇〇
一三三	硫酸安母紐謨	無		二 シトロネラ油	同	三二、三〇
	一 粗製ノモノ	無		三 ラヴェンダー油及バーガモット	同	三二、〇〇
	二 精製ノモノ	二 割		四 松精油	同	三二、〇〇
一三四	炭酸安母紐謨	三、八九				
一三五	フォルマリン	六、九〇				

一六〇	甲 罐入又ハ樽入ノモノ 乙 其ノ他 五 其ノ他 亞麻子油	同	從價	二、四八割	一七三 一七四	八七五ヲ超エタルモノノ ワセリン バラフヂンワツクス 一 融解點攝氏五十度未滿ノモノ 二 其ノ他	同	每百斤	無稅	〇、八五
一六一	一 罐入又ハ樽入ノモノ 二 其ノ他 蓖麻子油	從價	二、〇〇割	一七五 一七六	蠟燭 其ノ他ノ油、脂及蠟 第九類 染料、顏料及塗料	從價	每百斤	七、七〇割	二	〇、八五
一六二	阿列布油 一 罐入又ハ樽入ノモノ 二 其ノ他	從價	二、〇〇割	一七七	天然藍 一 乾キタルモノ 二 液狀又ハ泥狀ノモノ	從價	每百斤	三、七二〇割	三	五五、八〇
一六三	椰子油	從價	一、一〇割	一七八	人造藍 一 乾キタルモノ 二 液狀又ハ泥狀ノモノ	從價	每百斤	四、二〇〇割	三	六三、四〇
一六四	落花生油	同	三、九〇割							
一六五	棉種子油	同	三、三〇割							
一六六	コーコトバター(シオプローマカカオ ヨリ製シタルモノ)	從價	二、〇〇割	一七九	二 液狀又ハ泥狀ノモノ	從價	每百斤	二、〇〇割	三	四二、三〇
一六七	肝油	同	三、〇〇割	一八〇	拷皮	同	每百斤	〇、二〇割	二	〇、二〇
一六八	魚油及鯨油	同	三、〇〇割	一八一	紅花	同	每百斤	八、九〇割	二	〇、二〇
一六九	獸脂	同	三、〇〇割		一 餅紅花 二 其ノ他	同	每百斤	八、九〇割	二	〇、二〇
一七〇	一 豚脂 二 其ノ他	同	五、八〇割	一八二	姜黃	同	每百斤	三、二〇割	二	〇、二〇
一七一	スチアリン	同	一、三四割	一八三	ログウッド越幾斯	同	每百斤	〇、八〇割	二	〇、二〇
一七二	オレイン	同	二、〇〇割	一八四	アニリン染料	同	每百斤	三、三〇割	二	〇、二〇
	礦油(原油ヲ除ク)	同	二、〇〇割	一八五	アリザリン染料	同	每百斤	一二、三〇割	二	〇、二〇
	一 輕油(攝氏十五度ニ於テ比重〇、 七三〇未滿ノモノ)	從價	二、〇〇割		一 乾キタルモノ 二 液狀又ハ泥狀ノモノ	同	每百斤	二七、八〇割	二	〇、二〇
	二 燈油(攝氏十五度ニ於テ比重〇、 八七五ヲ超エサルモノ)	從價	二、〇〇割	一八六	酸化古拔爾篤	同	每百斤	八五、〇〇割	二	〇、二〇
	三 重油(攝氏十五度ニ於テ比重〇、 八七五ヲ超エサルモノ)	從價	〇、九六割	一八七	金液、銀液及白金液	同	每百斤	一八、〇〇割	二	〇、二〇
		從價	〇、九六割	一八八	ブラシアンブリーユ	同	每百斤	一〇、〇〇割	二	〇、二〇

一八九	郡青	同	同	二、八五	二〇七	其ノ他ノ染料及顏料	從	一割五分
一九〇	鉛粉	同	同	一、二〇〇	二〇八	其ノ他ノ塗料	同	二割
一九一	白色亞鉛粉	同	同	一、三三五	二〇九	第十類 絲纒繩索及同材料		
一九二	朱及辰砂	同	同	二、八二〇	二一〇	生綿及線綿	同	無稅
一九三	ベロント	同	同	四、一〇〇	二一一	屑綿及故綿	同	無稅
一九四	漆	同	同	六、三〇〇		綿織絲	同	無稅
一九五	ヴァニシユ	同	同	一、一〇〇		一 瓦斯燒、マーセイイズド其ノ他	同	二一、五〇
一九六	木タール及石炭タール	同	同	一、一〇〇		類似ノモノ	同	二一、〇〇
一九七	瀝青	同	同	〇、四五〇	二一二	綿縫絲	同	二九、四〇
一九八	土瀝青	同	同	一割五分	二二三	屑綿絲	同	無稅
一九九	靴墨	從	器百斤價	八、三〇〇	二二四	亞麻、大麻、苧麻、ラミー其ノ他ノ植物	同	無稅
二〇〇	鉛筆(金屬製ヲ除ク)	從	器百斤價	〇、五〇〇	二二五	纖維	同	無稅
	一 木鞘ニ入りタルモノ	從	器百斤價	三割	二二六	亞麻縫絲	同	一八、五〇
二〇一	二 其ノ他	從	器百斤價	一〇、〇〇〇	二二七	大麻、苧麻、ラミー及黃麻縫絲	同	四二、二〇
	一 寫字用又ハ筆記用ノモノ	從	器百斤價	一〇、〇〇〇	二二八	大麻、苧麻、ラミー及黃麻縫絲	同	三割
	二 印刷用ノモノ	從	器百斤價	一〇、〇〇〇	二二九	羊毛、山羊毛及駱駝毛	同	無稅
	甲 液狀又ハ泥狀ノモノ	從	器百斤價	一五、〇〇〇	二三〇	毛絲	同	二一、〇〇
	イ 石版用ノモノ	從	器百斤價	二、五〇〇		一 織物用ノミニ適スルモノ	同	二六、〇〇
	ロ 其ノ他	從	器百斤價	一割五分	二三一	二 其ノ他	同	無稅
	乙 固形ノモノ	從	器百斤價	三割	二三二	繭	同	無稅
二〇二	三 其ノ他	從	器百斤價	三割	二二三	生皮苧、熨斗絲及屑絲	同	一割五分
二〇三	墨及朱墨	同	同	三割	二二四	真綿	同	一六四、〇〇
	ア ーチストカラー及ア ーチストペ ー	同	同	三割	二二五	生絲、玉絲及撚絲	同	三一、〇〇
二〇四	ト	同	同	三割	二二六	野蠶絲	同	三割
	アンチフォーリングコンボジション、ア	同	同	三割	二二七	紡績絹織絲	同	三割
	ンチコロシ ーザペ ーント及類似ノ船底	同	同	三割	二二八	絹絲	同	三割
二〇五	塗料	同	同	六、四〇〇	二二九	人造絹絲	同	三割
	バテントドライヤー	同	同	三、〇〇〇		其ノ他ノ絲	同	三割
二〇六	コッパ ーペ ーント	同	同	五、九〇〇			同	三割

[illegible]

三〇一	四 其ノ他	從	價	四	割	三二一	一 バックルス 二 フックス 三 シュリーアイレット 四 其ノ他 身邊粧飾用細貨類	同	同	每	百	斤	一三、六〇 二三、一〇 三六、二〇 三割五分
三〇二	手袋 一 革製ノモノ 二 絹製又ハ絹入ノモノ 三 其ノ他	同	打	四、四〇 三、〇〇 一、四〇		三二一	一 貴金屬又ハ貴石ヲ用非タルモノ 二 其ノ他 粧飾料品(平紐、組紐、レース、總、ノツ、スター、金屬絲及金屬紐類) 一金銀製、絹製、金銀入又ハ絹入ノモノ 二 其ノ他 其ノ他ノ衣服及附屬品	同	同	同	同	同	六 割
三〇三	足袋 一 絹製又ハ絹入ノモノ 二 其ノ他	同	斤	二、五〇 〇、八〇		三二二	一 絹製、羽毛製、毛皮製、絹入、金銀入、毛皮付ノモノ又ハ刺繡シタルモノ 二 其ノ他	同	同	同	同	同	五 割
三〇四	肩掛及襟巻 一 絹製、羽毛製、毛皮製、絹入、羽毛入又ハ毛皮付ノモノ 二 其ノ他	從	價	五 割		三二三	一 絹製、羽毛製、毛皮製、絹入、金銀入、毛皮付ノモノ又ハ刺繡シタルモノ 二 其ノ他	同	同	同	同	同	五 割
三〇五	襟飾 一 絹製又ハ絹入ノモノ 二 其ノ他	同	斤	五、五〇 二、〇〇		三二四	其ノ他ノ衣服及附屬品	同	同	同	同	同	四 割
三〇六	袴鈞 一 絹製又ハ絹入ノモノ 二 其ノ他	從	打	五 割		三二五	印刷料紙 一 一枚千〇八十六方インチヨリ少ナカラサルモノ五百枚毎二十四五ボンド以下ノ重量ヲ有スルモノ 二 其ノ他	同	同	同	同	同	四 割
三〇七	アームサスペンダー及ストッキングサスペンダー類	從	價	四 割		三二六	第十三類 紙、紙製品、書籍及繪畫	同	同	同	同	同	一、六五
三〇八	帽子	同	同	四 割		三二七	筆記用紙	同	同	同	同	同	一、六五
三〇九	長靴、短靴其ノ他ノ履物 鈕釦(粧飾用ノモノヲ除ク)	同	同	四 割		三二八	圖畫用紙	同	同	同	同	同	一、六五
三〇一〇	一 包鈕釦 二 金屬製ノモノ 三 陶磁製又ハ玻璃製ノモノ 四 アイボリーナット製ノモノ(模造ノモノヲ含ム) 五 其ノ他 バックルス、フックス及アイス類	從	價	三割五分		三二九	濾紙	同	同	同	同	同	一、六五
三〇一一		從	價	三割五分		三三〇	フアンシートペーパー	同	同	同	同	同	一、六五
三〇一二		從	價	三割五分		三三一	製本用紙	同	同	同	同	同	一、六五
三〇一三		從	價	三割五分		三三二	包裝用紙(燐寸用紙ヲ含ム)	同	同	同	同	同	一、六五
三〇一四		從	價	三割五分		三三三	煙草用紙	同	同	同	同	同	一、六五

三三三	壁紙	同	同	五、〇六	二	工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	五	割
三三四	板紙	同	同	二、四〇	一	工ヲ加ヘタルモノ	同	一	割
三三五	唐紙	同	同	五、六〇	二	工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	三	割
三三六	模造日本紙	同	同	四、三〇	二	工ヲ加ヘタルモノ	同	四	割
三三七	模造羊皮紙	同	同	四、一五	二	工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	五	割
三三八	其ノ他ノ紙類	從	價	三	琥珀	一 工ヲ加ヘサルサモノ	同	無	割
三三九	白紙帳簿及書式類	從	價	四	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	同	一	割
三三〇	書狀用紙（封筒付箱入ノモノ）	從	價	四	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	同	一	割
三三一	アルバム	從	價	四	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	同	一	割
三三二	寫真用鶏卵紙及感光紙	從	價	四	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	同	一	割
三三三	一 鶏卵紙	內	價	六五、九〇	石墨	一 工ヲ加ヘサルサモノ	同	無	割
三三四	二 プロマイドペーパー及プラチナムペーパー	同	價	二二、〇〇	石絨	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三三五	三 其ノ他	同	價	八九、四〇	雲母	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三三六	骨牌	同	價	三〇、七〇	一 板	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三三七	寫真及書畫	同	價	六	二 其ノ他	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三三八	廣告用印刷物及繪畫	同	價	五	石膏	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三三九	繪葉書及クリスマスカード類	從	價	五	巴黎灰	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三四〇	書籍習字本、習畫本、樂譜本、新聞及雜誌	從	價	五	磷礦石	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三四一	設計圖	從	價	五	カイナイト、キーゼライト、カーナライ	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三四二	地圖、海圖及學術圖	從	價	五	ト其ノ他類似ノ鹽類	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三四三	紙幣、銀行券、利札、株券其ノ他ノ有價證券	從	價	五	クリオライト	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三四四	屑紙	從	價	五	粘土	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三四五	其ノ他別號ニ掲ケサル紙製品	從	價	五	石炭	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三四六	第十四類 礦物及礦石	從	價	五	コークス	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三四七	貴石	從	價	五	磚炭	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三四八	一 工ヲ加ヘサルモノ	從	價	五	白堊及ホワイチング	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三四九	二 工ヲ加ヘサルモノ	從	價	五	金剛砂	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三三〇	三 工ヲ加ヘサルモノ	從	價	五	砥石	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三三一	其ノ他ノ礦物材料	從	價	五	其ノ他ノ礦物材料	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割
三三二	第十五類 金屬	從	價	五	白金	二 工ヲ加ヘタルモノ（別號ニ掲ケサルモノ）	同	無	割

三六五
三六六
三六七

一 塊及錠
二 線及板
金地金
銀地金
鐵及鋼

一塊

甲 ビツグ

乙 其ノ他

二 條及竿（徑一インチノ四分ノ一ヲ超エタルモノ）

三 線及徑一インチノ四分ノ一ヲ超エサル條及竿

四 電鍍線

五 箍及帶

六 リボン

七 凹形線

八 線索

甲 電鍍シタルモノ

乙 其ノ他

九 葉鐵及葉鋼

甲 無地

乙 其ノ他

一〇 板

甲 電鍍シタルモノ

乙 其ノ他

一 一テ一形、アングル形其ノ他類

似ノモノ

一二 軌條

從 價
斤

七分五厘
二五〇、〇〇
無 稅

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

三六八
三六九

銅

一 塊及錠

二 條及竿

三 線

四 板

五 筒及管

六 故（改造用ノミニ適スルモノ）

鉛

一 塊及錠

二 線及板

三 茶鉛

四 管

五 故（改造用ノミニ適スルモノ）

錫

一 塊及錠

二 板

三 管

亞鉛

一 塊及錠

二 板

甲 ニッケル鍍シタルモノ

乙 其ノ他

イ 二號板

ロ 其ノ他

三 故（改造用ノミニ適スルモノ）

一三 フキツシプレート（軌條用ノモノ）

一四 筒及管

一五 屑及故（改造用ノミニ適スルモノ）

スビーグルアイゼン

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

從 價

同 每 百 斤

三七三	ニッケル	一 粒及塊	同	四、六五	三八四	二 青銅粉	同	一九、八〇
		二 條、竿、線、板及管	從	二 割		三 其ノ他	從	二 割五分
三七四	水銀		同	七、二〇	三八五	鑄口用カブシュール	同	〇、六三
三七五	アルミニウム	一 塊及錠	每百斤	三、九六	三八六	クラウンコルク	每千箇	〇、二〇
		二 條、線、板及管	同	一八、八〇		縫針、編針、留針類	每グロッソ	〇、二〇
三七六	安知母尼		同	七、分五厘		一 手縫用針	每斤	〇、四五
三七七	眞鍮及黃銅	一 條及竿	從	六、七〇	三八七	二 縫衣機用針	同	三、九〇
		二 線及板	同	七、四〇		三 其ノ他	從	三 割
		三 筒及管	同	九、四〇	三八八	一 金製ノモノ	同	六 割
		四 故(改造用ノミニ適スルモノ)	同	二、〇六		二 其ノ他	每グロッソ	〇、一六
三七八	日耳曼銀(條、竿、線及板)		同	一四、五〇		釘、リベット、螺旋釘、牝牡螺旋釘類		
三七九	鐵		從	七、分五厘		一 釘(鐵製又ハ銅製ノモノ)		
三八〇	バビツメタル 其ノ他ノアンチフリクシヨメタル		同	三、五〇		甲 鐵製ノモノ	同	三、五六
三八一	其ノ他ノ金屬及前記ノ金屬ニシテ別號ニ掲ケサル形狀及性質ノモノ		從	七、分五厘		イ 電鍍シタルモノ	每百斤	四、二〇
	一 塊及錠		同	二 割		ロ 其ノ他	同	一、三六
	二 條、竿、紐、帶、線、板、筒、管、アングル形其ノ他類似ノモノ(粧飾料品ヲ除ク)		同	七、分五厘		乙 銅製ノモノ	同	一、六〇
	三 屑及故(改造用ノミニ適スルモノ)		同	二 割		二 螺旋釘(鐵製又ハ眞鍮製ノモノ)	同	一、三五〇
三八二	第十六類 金屬製品		同	七、分五厘		甲 鐵製ノモノ	同	二、〇〇
	一 本邦通貨及外國金銀貨幣		從	無 稅		乙 眞鍮製ノモノ	同	二、〇〇
三八三	金屬箔及粉		同	一、九、六〇	三八九	三 牝牡螺旋釘及ワッシャー(鐵製ノモノ)	從	二 割五分
	一 錫箔		每百斤	一、九、六〇		四 リベット(鐵製ノモノ)	同	一、六七
			從	無 稅		五 ドックスバイクス(鐵製ノモノ)	同	一、八〇
			同	一、九、六〇		六 ブーツプロテクター(鐵製ノモノ)	同	一、五三
			從	無 稅		七 其ノ他	同	四、五六
			同	一、九、六〇		建築材、橋梁材、電線支柱其ノ他類似ノ	從	二 割五分

三九〇	材料	同	二割五分	四〇一	二 眞鍮ノモノ	同	二六、七〇
三九一	海底電線、地下電線其ノ他ノ絶縁電線 戸及家具用金具類	同	二割	四〇二	三 其ノ他	從	三割
	一 戸鎖(鐵製又ハ眞鍮製ノモノ)	每百斤	九、一二	四〇三	呼鈴及車用警鈴	從	四六、六〇
	甲 鐵製ノモノ	同	三六、五〇	四〇四	金製品(別號ニ掲ケサルモノ)	從	六割
	乙 眞鍮製ノモノ	同	七、六五	四〇五	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	五割
	二 戸蝶鉄(鐵製又ハ眞鍮製ノモノ)	同	二五、六〇	四〇六	銅製品及眞鍮製品(別號ニ掲ケサルモノ)	每百斤	三〇、八〇
	甲 鐵製ノモノ	同	三	四〇七	アルミニウム製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	六〇、〇〇
	乙 眞鍮製ノモノ	從	二、三五		其ノ他別號ニ掲ケサル金屬製品	從	三割
三九二	工匠具、農具及同部分品	每百斤	四、六五		第十七類 陶磁器、玻璃及玻璃製品	同	
	一 鐵砧	同	一〇、九〇		瓦類	每百斤	〇、三八
	二 鐵槌	同	四、〇〇		一 耐火煉瓦	同	
	三 レンチ	同	三、二七		二 瓦	同	
	四 ヴァイス	同	二		甲 渤藥ヲ施シタルモノ	同	二、九三
	五 ショヴエル及スクープ(柄アルモノ)	同	四		乙 其ノ他	從	一、五六
	六 其ノ他	從	二	四〇八	三 其ノ他	同	二割
三九三	刃物(金銀製、鍍金銀製及別號ニ掲ケタルモノヲ除ク)	同	一、六八	四〇九	陶磁器(別號ニ掲ケサルモノ)	同	二割
三九四	鍍及鍍鍍	每百斤	二、〇三	四一一	玻璃塊	同	二割
三九五	鐵鏈	同	六		玻璃棒及玻璃管	同	二割
三九六	懷中時計用鏈	從	一四、三〇		一 無色平面ノモノ	同	
	一 金製又ハ白金製ノモノ	從	五		甲 厚四ミリメートルヲ超エサルモノ	同	〇、九五
	二 鍍金シタルモノ	從	三		イ 十方フットヲ超エサルモノ	同	一、一八
三九七	三 其ノ他	同	九、四八		乙 其ノ他	同	
三九八	ストーブ	同	三		イ 一方フットヲ超エサルモノ	同	一、五二
三九九	珐瑯ヲ施シタル鐵器	從	九、五五		ロ 其ノ他	同	九、三〇
四〇〇	咖啡粉碎器及截肉器	同					
	コック及バルブ類						
	一 鐵製ノモノ						

[illegible]

四四〇	權衡及尺度	同	從價	四、一〇割	四六二	二 其ノ他	同	從價	〇、九四割
四四一	寒暖計及晴雨計	同	同	二割	四六三	竹材	同	同	二割
四四二	水量計、瓦斯計、壓力計、アンペリアメートル、ヴォルトメートル其ノ他類似ノ計量器	同	同	二割	四六四	木材	同	同	一、六六八、九二割
四四三	樂器、同部分品及同附屬品	同	同	二割	四六五	一 花梨木、鐵刀木、黃楊木、紅木、紫檀及黑檀	同	同	〇、六三〇、六〇〇、六〇〇
四四四	幻燈器及同部分品	同	同	五割	四六六	ニ リグナムヴァイタ	同	同	〇、六〇〇
四四五	寫真器及同部分品	同	同	五割	四六七	三 チーキ	同	同	一、八〇〇
四四六	蓄音器及同部分品	同	同	五割	四六八	四 オレゴンパイン、フアー及シダ	同	同	〇、六〇〇
四四七	縫衣機	同	同	一、一〇割	四六九	一 薪材	同	同	〇、六〇〇
四四八	一 手動ノモノ	同	同	八、二五割	四七〇	乙 丸材及角材	同	同	〇、六〇〇
四四九	二 足動ノモノ	同	同	二割	四七一	五 桐	同	同	〇、五二〇
四五〇	縫衣機部分品	同	同	二割	四七二	六 其ノ他	同	同	〇、五二〇
四五〇	潛水器及同部分品	同	同	二割	四七三	薪材	同	同	〇、五二〇
四五一	タイプライター	同	同	二割	四七四	木炭	同	同	〇、五二〇
四五一	電信機、電話機及同部分品	同	同	一割五分	四七五	骨炭	同	同	〇、五二〇
四五二	汽鐘	同	同	一割五分	四七六	電燈用カーボンロッド	同	同	〇、五二〇
四五三	蒸汽機關、瓦斯機關、石油機關、發電機	同	同	一割五分	四七七	製紙用バルブ	同	同	〇、五二〇
四五四	其ノ他ノ原動力機及同部分品	同	同	一割五分	四七八	スバルテリ	同	同	〇、五二〇
四五四	金屬工機械、木工機械及同部分品	同	同	一割五分	四七九	麥稈真田	同	同	〇、五二〇
四五五	紡績機械、製織機械及同部分品	同	同	一割五分	四八〇	一 幅一インチノ四分ノ一ヲ超エサ	同	同	〇、五二〇
四五六	其ノ他ノ機械及同部分品	同	同	一割五分	四八一	ルモノ	同	同	〇、五二〇
四五七	第十九類 雜品	同	同	一割五分	四八二	二 幅一インチノ八分ノ三ヲ超エサ	同	同	〇、五二〇
四五八	コブラ	同	同	一割五分	四八三	三 其ノ他	同	同	〇、五二〇
四五九	フノリ	同	同	一割五分	四八四	フルト製帽體	同	同	〇、五二〇
四六〇	石花菜	同	同	一割五分	四八五	三 其ノ他	同	同	〇、五二〇
四六一	藤皮用樹皮	同	同	一割五分	四八六	三 其ノ他	同	同	〇、五二〇
四六一	籐	同	同	一割五分	四八七	三 其ノ他	同	同	〇、五二〇
四六一	一 割リタルモノ	同	同	一割五分	四八八	三 其ノ他	同	同	〇、五二〇

四七三	帽子用裏革(模造革ヲ含ム)	同	三〇、五〇	無	稅	四八五	甲 軟質ノモノ 乙 硬質ノモノ 五 其ノ他 ギタペルカ	從 同 每百斤	八四、二〇 六三、二〇
四七四	一 包蓆 二 蘭蓆 三 椰皮蓆 四 其ノ他	從 同 每百斤	三 割 一、六一	無	稅	四八五	一 生 二 板 三 其ノ他	從 同 每百斤	二 割 三九、四〇
四七五	ヲルクム	從 同 每百斤	三 割 〇、六六	無	稅	四八五	護謄及ギタペルカ製品(別號ニ掲ケサルモノ)	從 同 每百斤	無 稅
四七六	タードフェルト、タードペーパー、マルソイド其ノ他類似ノ屋背用又ハ船底用材料	同	二、一〇	二 割	四八六	一 櫛 二 チーツ 三 其ノ他	從 同 每百斤	二 割 一七、一〇	
四七七	酵母	同	二 割	一 割五分	四八七	デンタルラバー	從 同 每百斤	二 割 一八、〇〇	
四七八	麥芽	同	二、〇〇	〇、一六	四八八	インデヤラバー液	從 同 每百斤	無 稅	
四七九	飼料	同	〇、一六	五 分	四八九	屑護謄及故護謄(改造用ノミニ適スルモノ)	從 同 每百斤	〇、九八	
四八〇	一 乾草 二 其ノ他	同	〇、一六	一〇八、〇〇	四九〇	ハードファイバー(竿、板及管ノ類)	從 同 每百斤	一〇、九〇	
四八一	天蠶絲	從 同 每百斤	二 割	〇、九七	四九一	セリユロイド(條、帶、竿、板及管ノ類)	從 同 每百斤	二五、六〇	
四八二	封蠟	從 同 每百斤	〇、九七	九、一九	四九二	セリユロイド製品(別號ニ掲ケサルモノ)	從 同 每百斤	六七、五〇	
四八三	パツター	同	九、一九	無	四九三	一 櫛 二 其ノ他	從 同 每百斤	四 割	
四八四	ローラーコンボジョン	同	無	稅	四九四	ブラッシ及箒	從 同 每百斤	四 割	
	護謄	同	無	稅	四九五	金剛砂布	從 同 每百斤	二、六七	
	一 生 二 板	同	無	稅	四九六	砂紙	從 同 每百斤	一、八六	
	甲 軟質ノモノ イ 厚一ミリメートルヲ超エサルモノ ロ 其ノ他 乙 硬質ノモノ	同	八七、八〇 三五、九〇 三七、八〇 三一、六〇	四九七	金剛砂砥	從 同 每百斤	二 割 〇、三三		
	三 竿 四 管	同	三七、八〇 三一、六〇	四九八	坩堝	從 同 每百斤	二、〇五		
		同	五〇〇	四九九	ポートランドセメント	從 同 每百斤	七、五一		
		同		五〇〇	石絨板 機關用パッキング	從 同 每百斤			

五〇一 機關用帶及管

一 革製ノモノ

二 護謄製ノモノ

三 帆布製ノモノ

四 其ノ他

馬具

旅櫃、提囊及佩袋

皮革製品(別號ニ掲ケサルモノ)

額縁及天井縁

木製品(別號ニ掲ケサルモノ)

竹、葦及籐製品(別號ニ掲ケサルモノ)

ラムプ、提燈及同部分品

一 インカンデッセントエレクトリック
クラムプ

甲 三十二燭光ヲ超エサルモノ

乙 其ノ他

二 アスベストスマントル

三 其ノ他

五〇九 杖、鞭及傘柄

一 金銀製又ハ鍍金銀製ノ金具ヲ付
シタルモノ

二 其ノ他

五一〇 傘

一 絹製又ハ絹入ノモノ

二 其ノ他

五一一 傘、杖及鞭ノ手

一 金銀製又ハ鍍金銀製ノモノ

二 其ノ他

五一二

寫真用フサルム

一 現象セサルモノ

二 其ノ他

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

價

二五、三〇

一二、五〇

一三、五〇

一割五分

四

四

四

四

四

四

四

四

四

五、八〇

一〇、二〇

五、一〇

三

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

五二三

五二四

五一五

五一六

五一七

五一八

五一九

五二〇

五二一

五二二

五二三

五二四

五二五

五二六

五二七

五二八

五二九

五三〇

五三一

五三二

五三三

五三四

五三五

五三六

五三七

五三八

五三九

五四〇

五四一

造花
人物及動物ノ像(金製ノモノヲ除ク)

象牙製品(別號ニ掲ケサルモノ)

龍甲製品(別號ニ掲ケサルモノ)

珊瑚製品(別號ニ掲ケサルモノ)

假製貴石及假製眞珠

化粧具匣

香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、
薰香類

石鹼

一 化粧用ノモノ

二 洗濯用ノモノ

甲 マルセーユ石鹼

乙 其ノ他

三 其ノ他

ビリヤード、テニス、クリケット、象棋
其ノ他ノ遊戲ニ用ヅル器具及同附屬品

體操用具

玩具

製造煙草

線香

燐寸

煙火

爆發藥

一 火藥(無烟火藥ヲ除ク)

二 ダイナマイト

三 デトネートル

四 フューズ

五 其ノ他

藥莖及銃砲彈

獵銃

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

五

五

五

五

五

五

五

五

六

二四、七〇

三、九二

三、五四

三

五

三

五

三

五

二十五割

四、一四

六、四一

六、三〇

五、九〇

三〇、三〇

二二、八〇

二割五分

四

四

四

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

割

五三二	銃砲、刀劍其ノ他ノ諸兵器	同	四	割
五三三	錐形	無	無	稅
五三四	看板	無	無	稅
五三五	肥料(糠、油糟、食用ニ適セサル乾魚、骨粉、血粉、骨灰、鳥糞、過燐酸石灰等)	無	無	稅
五三六	別號ニ掲ケサル未製品	從	一	割
五三七	別號ニ掲ケサル半製品	同	二	割
五三八	別號ニ掲ケサル全製品	同	三	割

備考 從量稅率ノ單位ハ圓トス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此法案ハ戰後ノ經營ノ一ト致シマシテ頗ル重要ノ法案デゴザイマス、會期ノ切迫イタシマシテカラ、コチラヘ同リマシタト云フコトハ甚ダ遺憾ニ存ジマスノデゴザイマス、成ルベク審査ヲ急ガレテ此議會デ成立スルコトヲ切ニ政府ハ希望イタシテ居ル次第デゴザイマス、御承知ノ如ク此現在ノ關稅定率法ハ今ヨリ十年前以前ニ取調ベマシタモノデゴザイマシテ、此十年間ニ於ケル我國ノ工業商業ノ進歩ニ依リマシテ非常ニ變化ヲ來タシテ居リマスノデ、ソレ故ニ現行ノ關稅定率法ハ現在ノ我國ノ商工業ノ有様ト相容レナイ點ガ多クゴザイマスノデ、之ニ加フルニ戰時增稅ヲ致シマシタガ爲ニ、從來既ニ其當ヲ得ナイモノノ上ニ又其儘稅ヲ增率イタシマシタカラ益、此改正ノ必要ヲ認メマス次第デゴザイマス、此度ノ改正ニ依リマスレバ有稅品ニ對シマスル稅ノ割合ガ凡ソ一割二三分ニナリマス、之ヲ各國ニ比較イタシマスル或ル國ニ於キマシテハ二割三割、又五割六割ト云フ平均ニナツテ居リマスカラ、決シテ我國ノ關稅定率ガ各國ニ比較イタシテ非常ニ高イト云フコトハ無イノデゴザイマス、政府モ亦謂ハユル收入ヲ目的トシテ稅率ガ編成イタシテゴザイマス、必シモ外國品ヲ排斥スルト云フ主義ヲ執ッタノデハゴザイマセス、而シテ此改正ニ依リマスレバ此十年間ノ進歩ニ依リマシテ、我國デ從前出來ナカタモノデアッテ今出來ルヤウニナツタモノハ多少稅ヲ重クシテモ宜イト云フヤウナ變化ヲ來タシタモノモゴザイマス、其一例ヲ舉ゲマスレバ、製鐵所デ鐵ヲ造ルヤウニナリマシタ爲ニ鐵ノ稅ノ如キモノ

ハ今日ハ協定ニハナツテ居リマスガ、此國定稅率ニ依リマスレバ稅ヲ上ゲマシタノデゴザイマス、是ハ諸君ト共ニ慶賀シナケレバナラヌ工業ノ進歩ト考ヘマス、即チ此鐵ヲ我國デ造リ得ルヤウニナツタ爲ニ鐵ノ輸入稅ハ多少増シテモ宜イト云フ時機ニ既ニ今日ハ達シタノデゴザイマス、斯ノ如クデゴザイマスカラ此定率法ハ是非此議會デ成立イタサセタイト考ヘマス、此改正ニ依リマスルト收入ノ上ニ於キマシテハ一箇年ニ凡ソ二百五六十萬圓ノ增收ニナル當初ノ計算デゴザイマシタ、尤モ衆議院ニ於キマシテ、多少ノ修正モゴザイマシタ、此修正ニ付キマシテハ政府ハ同意ヲ致シタ點モゴザイマス、即チ此數多ノ項目ニ付テノ修正ガゴザイマス、サリナガラ甚ダ遺憾ト致シマスノハ紙ノ稅ノコトニ付キマシテ衆議院ト意見ヲ異ニ致シマシタ、紙ノ稅ハ現今ノ協定稅率ハ百斤ニ付テ一圓十六錢ト云フコトニナツテ居リマス、之ヲ政府ノ原案デハ百斤ニ付テ一圓六十五錢ニ上ゲマシタ、紙ノ稅殊ニ印刷用ノ紙ノ稅ト云フモノハドウシテモ廉クナクテハナラヌト云フコトガ衆議院ノ議論デゴザイマシテ、殊ニ多クハ新聞紙或ハ書物ノ如キ知識ヲ進メル所ノモノニ使フ紙デアルカラニ紙ノ稅ト云フモノハ廉クシテ宜イト云フノガ衆議院ノ論デアリマシテ、頻ニ此事ヲ政府ト交渉ニナリマシタノデゴザイマス、サリナガラ既ニ協定ニナツテ百斤一圓十六錢ニナツテ居ル、既ニ協定ニナツテ居ルモノヲ變ヘルト云フコトハ不得策デアル、ソレデ今日政府ノ原案デハ百斤一圓六十五錢ニ上ゲテアルケレドモ其百斤一圓六十五錢ト云フコトハ直ニ適用セラル、ノデナクシテ此協定稅ノ切レタ時カラ適用スルノデアルカラ其場合ニ更ニ協定ガアレバ現行ノ百斤一圓十六錢ト云フモノヲ適用シテ行クノデ、何等苦痛ガナイノデアアルカラ原案ニ同意ヲ求メタ、然ルニ衆議院ニ於キマシテハ知識ヲ進メル上ニ於テ是ハ必要ナルコトデアル、デ之ヲ從價一割ト云フコトニ修正サレマシタカラ其結果、從價一割ト云フモノヲ重量ニ換算イタシマスルト云フト百斤ニ付テ凡ソ八十錢内外ニナリマス、八十錢内外ニナリマスル現行ノ百斤一圓十六錢ト云フモノヨリ廉クナリマスカラ、即チ此協定稅率ガ下ガルト云フ結果ニナルノデ、是ハ如何ナルモノデアラウカ、紙ノ工業ト云フモノハ申スマデモナク明治五六年ノ頃カラ新ニ輸入イタシマシタ工業デゴザイマシテ、今日多少ノ發達ヲ致シテ、或ハ海外ニモ輸出スルヤウニナリマシタガ、又之ト反對ニ海外カラ大變ニ我國ニ紙ヲ輸入シテ來ルト云フ今日ハ形勢ガ見エマス、例ヘバ速記ニ使ヒマス駿河半紙ノ如キモノモ輸入品ガ這入ッテ

來ルト云フ場合ガゴザイマシテ、紙ノ工業政策ニ付キマシテ、今日ハ餘ホド慎重ニ考ヘナケレバナラス、素ヨリ知識ヲ進メルト云フ點ニ於キマシテモ、是ハ十分ニ考ヘナケレバナラスノデゴザイマスガ、國ガ頼ツテ以テ立ツテ行ク所ノ工業ノ基礎ヲ苟モ危クル傾ガアルコトハ餘ホド慎重ニシナケレバナラヌト考ヘマスノデ、現在ノ協定稅率ヨリモ之ヲ下ケルト云フコトハ、少シク遺憾ニ政府ハ考ヘテ居リマスノデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ尙ホ委員會ニ於キマシテ能ク政府ノ意見ノアル所モ御聽取リヲ願ヒタイト考ヘマス、其外ノ修正ニ付キマシテハ政府ニ於キマシテ異存ハゴザイマセヌ、總テ衆議院ノ修正ニ同意イタシタ次第ゴザイマス、デ御審議ノ上速ニ御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシテ置キマス

○伯爵廣澤金次郎君　チヨット質問ガアリマス、此關稅定率法ヲ見マスルト、石炭ガ從來ハ五分稅ガアリマシタノガ無稅ニナツテ居リマスガ、少シク之ニ付テ大藏大臣ニ質問ヲ試ミタイト考ヘマス、政府ハ非常ニ輸出獎勵、産業ノ發達ト云フコトヲ希望サレテ居ル、鐵國案ノ如キモノマデ提出サレテ居ル今日デアリマスノニ、此我國輸出重要品ノ石炭ヲ獎勵スルニハドウシテモ外國ノ石炭ニモ五分デモ一割デモ幾ラカノ課稅ヲスルト云フコトガ必要デアラウト考ヘマスガ、又一方ニ於キマシテハ濠洲炭トカ「ホンゲー」炭又ハ此支那ノ開平、或ハ滿洲アタリデモ續々石炭ガ產出スルダラウト考ヘマス、此際ニ於キマシテ成ルホド今日、日本ノ石炭ハ御用船ノ爲ニ一時少シ高過ギルト云フコトハアリマスガ、是ハ近キ未來ニ於テ又反動ヲ來タシテ下落ノ方ニナルダラウト考ヘマス、サウシマスルト、ドウシテモ、我が輸出重要品ノ石炭ノ輸出ヲ獎勵スルニハ外國炭ニ幾ラカ課稅ヲスル必要ガアラウト考ヘマスガ、之ヲ此際政府ハ頻ニ輸出獎勵トカ産業ノ發達トカ云フコトヲ言ハレルノニ、石炭ノ五分稅ヲ無稅ニサレタノハ何カ理由ガアラウト考ヘマスカラ、一ツ明瞭ニ此際御答辯ヲ願ヒマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君)　石炭ノ輸出ヲ獎勵スルト云フコトハ……素ヨリ政府ニ於テ十分努メテ居リマスガ、此度石炭ノ輸入稅……唯今ノ御尋ネハ輸入稅デアルト考ヘマス

〔伯爵廣澤金次郎君「輸入稅」ト述ブ〕

輸入稅ヲ廢シマス、是ハ即チ五分カ、ッテ居リマスノヲ廢シマス理由ハ、工業

燃料……工業ニ用ヰマス燃料トシテ石炭ノ廉イト云フコトハ一番必要ナコトデアリマスカラ、石炭ト云フモノニ輸入稅ヲ課スル必要ハ無イト政府ハ思ヒマスノデ、又今日實際輸入ニナツテ居リマスノハ海軍デ使ヒマス「カーチフ」炭クラ非ナモノデゴザイマシテ、是ハ内地ノ石炭トハ何等ノ競争ニナラスノデゴザイマス、即チ此石炭ハ成ルベク廉ク得ラレルト云フコトガ國家ノ工業ヲ發達イタス上ニ付テ必要デアラウ、斯ウ考ヘマシタガ故ニ石炭ノ輸入稅ヲ廢シマシタ

○西村亮吉君　私モ大藏大臣ニ質問イタシマスガ、此關稅定率改正案ハナカナカ大切ナヤウニ思ヒマス、然ルニ此會期中ニ是非通過ヲサセヌナラヌト云フヤウニ承リマシタガ、斯ノ如キモノヲ會期三分ノ二以上ヲ經過シテカラ御提出ニナツタ、右等ノ大切ナモノハ斯ノ如キ場合ニ御提出ニナルベキモノデアルカ、エライ延引ヲシテ御出シニナツタ……何デモ之ヲ衆議院ニ御提出ニナツタハ三月ノ六日カ五日頃ノヤウニ覺エテ居ルノデゴザイマス、ドウ云フ譯デソレホド延引ニナリマシタラウ

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君)　唯今ノ御尋ネハ誠ニ御尤ナ御尋ネデゴザイマシテ、政府ニ於キマシテモ是ハ成ルベク開會ノ初メニ於テ出スベキノガ順序ト考ヘマシタノデゴザイマス、併ナガラ此調査ニ非常ニ手間ガカ、リマシテ、殊ニ大切ナ案デゴザイマスカラ一旦調上ゲマシテハ又更ニ修正ヲ要スル廉ヲ發見スルト云フ譯デ、屢、修正ヲシ、又農商務省、外務省等、關係ノ各省ニ交渉ヲ重ナルト云フコトカラ、遂ニ三月二日ニ至リマシテ漸ク御裁可ヲ經マシタヤウナ次第デ、會期ノ切迫ノ今日ニコチラノ方ヘ同ツタト云フコトニ付テハ甚ダ遺憾ニ存ジマス、併ナガラ政府ニ於キマシテハ、及ブ限リノ盡力ヲ致シマシテ、調査ヲ急ギマシタガ、斯ノ如ク時期ガ後レルニ至リマシタコトハドウゾ御了承ヲ願ツテ置キマス

○議長(公爵德川家達君)　別ニ御發議ガゴザイマセヌケレバ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君)　此特別委員ハ議長ガ選定イタシマシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔伯爵廣澤金次郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) チョット御待チヲ願ヒマス、直チニ選定ヲ致シマス

〔仙石書記官朗讀〕

關稅定率法改正法律案特別委員

伯爵正親町 實正君

辻 新次君

男爵松平 正直君

平山 成信君

男爵吉川 重吉君

男爵本多 政以君

西村 亮吉君

藤田 四郎君

廣海 二三郎君

○議長(公爵德川家達君) 廣澤伯爵ハ何デスカ

○伯爵廣澤金次郎君 本員ハ議事日程變更ノ動議ヲ提出シタイト考ヘマス、今日衆議院カラ送付ニナリマシタ屠場法案ト云フモノガアリマスガ、是ハ本員ガ考ヘル所デハ今日ノヤウニ市場ノ牛肉屋ガ如何ハシイ牛肉ヲ賣ルノヲ取締ルト云フノハ衛生上一日モ缺クベカラザルコト考ヘマス、兎ニ角委員ニ付託ニナツテ、本期ニ間ニ合フ間ニ合ハザルハ別デアリマスガ、委員付託ニナルト云フコトヲ希望イタシマスニ依ツテ、日程ニ追加セラレマスコトヲ希望イタシマス

○男爵石黒忠恵君 唯今ノ廣澤伯爵ノ動議ニ賛成イタシマス

〔其他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 廣澤伯爵ノ議事日程追加ノ動議ニハ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ屠場法案ノ第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノ朗讀ハ省略シテ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

屠場法案

右本院提出案及送付候也

明治三十九年三月二十三日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長杉田定一

屠場法

第一條 本法ニ於テ屠場ト稱スルハ食用ニ供スル目的ヲ以テ獸畜ヲ屠殺スル屠場ヲ謂フ

本法ニ於テ獸畜ト稱スルハ牛、羊、豚及馬ヲ謂フ

第二條 屠場ヲ設立セムトスル者ハ地方長官(東京府ニ於テハ警視總監)ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 屠場以外ニ於テハ食用ニ供スル目的ヲ以テ獸畜ヲ屠殺解體スルコトヲ得ス但シ自家用其ノ他特別ノ事情アル場合ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第四條 屠場ニ於テハ屠畜検査員ノ検査ヲ經サル獸畜ヲ屠殺解體スルコトヲ得ス

屠肉、内臓其ノ他食用ニ供スル部分ハ屠畜検査員ノ検査ヲ經ルニ非サレ

ハ屠場外ニ搬出シ又ハ製造ノ用ニ供シ若ハ貯藏スルコトヲ得ス

第五條 屠場ニハ屠畜検査ノ爲必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第六條 市町村ニ於テ屠場ヲ設立スルトキハ地方長官(東京府ニ於テハ警視總監)ハ必要ト認ムル地區内ニ於ケル私設屠場ノ廢止ヲ命スルコトヲ得

第七條 屠場ヲ設立スル市町村ハ屠場ヲ命セラレタル私設屠場主ニ對シ屠場ノ使用廢止ノ爲受クヘキ損失ヲ補償スヘシ

前項ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ地方長官之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第八條 内務大臣ハ必要ト認ムルトキハ屠場ノ設置ヲ市町村ニ命スルコトヲ得

第九條 市町村ハ地方長官(東京府ニ於テハ警視總監)ノ認可ヲ得ルニ非サレハ屠場ヲ廢止スルコトヲ得ス

第十條 市町村立屠場ノ用地ニ必要ナル國有ノ土地ハ之ヲ市町村ニ讓與シ又ハ無償ニテ使用セシムルコトヲ得

第十一條 衛生上危害ヲ生シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ

地方長官(東京府ニ於テハ警視總監)ハ屠場ノ廢止ヲ命シ又ハ其ノ使用ヲ停止スルコトヲ得

第十二條 地方長官(東京府ニ於テハ警視總監)ハ必要ト認ムルトキハ屠場設備ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十三條 第三條、第四條ニ違背シタル者又ハ第十一條ノ停止ヲ犯シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 屠畜ニ關スル營業者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 屠畜ニ關スル營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルコトヲ得ス

第十六條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人、其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス
法人ヲ罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

附 則

第十七條 本法施行ノ際現ニ存スル屠場ハ本法施行後三箇年間ハ本法ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但シ本法施行ノ日より起算シ許可期間三箇年以内ナルトキハ其ノ期間ニ依ル

前項ノ期間終了後ハ本法ニ依リ許可ヲ受クヘシ

第十八條 本法中市町村ニ關スル規定ハ北海道ノ區、一級町村、二級町村及沖繩縣ノ區其ノ他市町村ニ準スヘキ地ニ適用ス

第十九條 本法ハ明治三十九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發議ガゴザイマセヌケレバ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 此特別委員ノ選定ハ議長ガ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直ニ選定イタシマス

「小原書記官朗讀」

屠場法案特別委員

伯爵廣澤金次郎君	子爵竹内惟忠君	名村泰藏君
男爵石黒忠憲君	黒岡帶刀君	徳久恆範君
男爵金子有卿君	三宅秀君	本間千代吉君

「名村泰藏君發言ノ許可ヲ求ム」

○議長(公爵德川家達君) 名村君ハ何デスカ

○名村泰藏君 唯今ヨリ日程ヲ追加イタシマシテ立竹木ノ會議ヲ御開キニナルヤウニ願ヒタイ

○子爵曾我祐準君 賛成

「其他賛成」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 名村君ノ日程追加ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ是ヨリ立竹木ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

立竹木ニ關スル法律案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十九年三月二十三日

右特別委員長

名村泰藏

貴族院議長公爵德川家達殿

「小字ハ修正
ハ削除ノ符號」

立竹木ニ關スル法律案

第一條 本法ニ於テ立竹木ト稱スルハ一筆ノ山林原野又ハ一筆ノ山林原野ノ一部分ニ生立スル竹木ニシテ其ノ所有者カ本法ニ依リ所有權保存ノ登

記ヲ受ケタルモノヲ謂フ

第二條 立竹木ハ之ヲ一箇ノ不動産ト看做ス

立木ノ所有者ハ土地ト分離シテ立木ヲ讓渡シ又ハ之ヲ以テ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

第三條 土地所有權又ハ地上權ノ處分ノ效力ハ立竹木ニ及ハス

第四條 立竹木ノ所有者ハ立竹木ヲ抵當ト爲シタル場合ニ於テモ當事者ノ

定メタル施業方法ニ依リテ其ノ竹木ヲ採取スルコトヲ妨ケス

第五條 立竹木ヲ目的トスル抵當權ハ前條ニ依ル採取ノ場合ヲ除クノ外其

ノ竹木カ土地ヨリ分離シタル後ト雖其ノ竹木ニ付之ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ハ民法第九十二條乃至第九十四條ノ適用ヲ妨ケス

第六條 立竹木ヲ目的トスル抵當權ハ森林法第二十六條ニ依リ債務者カ受

クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ抵當權者ハ其ノ拂渡前ニ

差押ヲ爲スヘシ

第七條 土地及立竹木カ同一ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ土地又ハ立

竹木ノミヲ抵當ト爲シタルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ付地上權

ヲ設定シタルモノト看做ス但シ其ノ存續期間及地代ハ當事者ノ請求ニ因リ

地方ノ慣習ヲ斟酌シテ裁判所之ヲ定ム

第八條 民法第三百九十八條ノ規定ハ地上權者カ其ノ所有スル立竹木ヲ抵

當ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第九條 立竹木カ地上權者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ地上權又ハ立竹木ノミ

ヲ抵當ト爲シタルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ付地上權ノ存續期

間内ニ於テ其ノ土地ノ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス但シ其ノ存續期間及借

賃ニ付テハ前條但書ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ存續期間ノ定ナキ地上權ニ付テハ當事者又ハ賃借人ノ

請求ニ因リ地方ノ慣習ヲ斟酌シテ裁判所其ノ存續期間ヲ定ム

前條但書ノ規定ハ第一項ノ賃貸借ニ之ヲ準用ス

第十條 前條ノ規定ハ賃借人カ其ノ所有スル立竹木ヲ抵當ト爲シタル場合

ニ之ヲ準用ス

第十條 民法第三百九十八條ノ規定ハ地上權者カ其ノ所有スル立竹木ヲ抵當ト爲シタル場合ニ之ヲ準

用ス

第十一條 立竹木ヲ抵當ト爲シタル場合ニ於テ其ノ所有者カ竹木ノ運搬ノ

爲土地ヲ使用スル權利ヲ有スルトキハ立竹木ノ競落人ハ當然其ノ權利ヲ

行使スルコトヲ得

第十二條 第三條乃至第十一條ノ規定ハ先取特權ニ之ヲ準用ス

第十三條 各登記所ニ立竹木登記簿ヲ備フ

不動產登記法第十四條第二項ノ規定ハ前項ノ登記簿ニ之ヲ準用ス

第十四條 立竹木登記簿ハ一箇ノ立竹木ニ付一用紙ヲ備フ

第十五條 立竹木登記簿ハ其ノ一用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙ノ二區

二分チ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設

ク

登記番號欄ニハ各立竹木ニ付登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載

ス

表示欄ニハ立竹木ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番

號欄ニハ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ先取特權及抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第十六條 登記ノ申請書ニハ不動産登記法第三十六條ニ掲ケタル事項ノ外

左ノ事項ヲ記載スヘシ

竹木カ一筆ノ山林原野ノ一部分ニ生立セル場合ニ於テハ其ノ區域ノ

方位及段別、其ノ區域ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名

稱又ハ番號

二 竹木ノ種類、林齡及數量

三 部分林ニ付テハ收益分收ノ割合

第十六條 所有權保存ノ登記ニ付テハ不動産登記法第六條及第七條ノ

規定ヲ準用ス

第十七條 所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ保存登記ニ付土地ノ登記簿上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ代ルヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十八條 既登記ノ土地ニ生立スル^樹竹木ニ付所有權保存ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ土地ノ登記用紙中土地又ハ地上權ヲ目的トスル先取特權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ立竹木登記簿ニ其ノ登記ヲ轉寫スヘシ但シ其ノ登記ニ抵當權カ^樹竹木ニ及ハサル旨ノ記載アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 既登記ノ土地ニ生立スル^樹竹木ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ土地ノ登記用紙中表示欄ニ立竹木ノ登記番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ立竹木ノ區分ノ登記ヲ爲シタルトキ又ハ立竹木ノ存スル土地ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

立竹木ノ登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ前項ニ依リテ記載シタル登記番號ヲ朱抹シ登記官吏捺印スヘシ

第二十條 立竹木ノ分合若ハ滅失アリタルトキ又ハ第十六條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキハ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク其ノ登記ヲ申請スヘシ立竹木ノ存スル土地ノ地目、字、番號又ハ段別ニ變更アリタルトキ亦同シ

第二十一條 立竹木ノ目的トスル抵當權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ不動産登記法第十七條ニ掲ケタル事項ノ外施業方法ヲ記載スヘシ但シ地方ノ慣習ニ依リ施業スル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第二十二條 先取特權又ハ抵當權ノ目的ト爲リタル立竹木ノ所有者カ施業方法ニ違反シテ其ノ^樹竹木ヲ傷害シ又ハ傷害セシメタルトキハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス利ヲ圖ルノ目的ヲ以テ其ノ^樹竹木ヲ採取シ又ハ採取セ

シメタルトキハ森林法第三十七條及第三十八條ノ例ニ照シテ處斷ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔名村泰藏君演壇ニ登ル〕

○名村泰藏君 立竹木案ノ委員會ノ經過ヲ申上ゲマス、昨日朝、正副委員長ノ互選ヲ致シマシテ引續イテ委員會ヲ開イテ段々審査ヲ致シマシタ次第デアリマス、初メ政府委員ヨリ此立竹木案ノ必要ナルコトヲ辯明ヲ受ケマシテ、其説明ニ依リマスル此土地ト竹木ヲ別ケテ抵當ニ入レヨッタト云フコトハ、御維新前ヨリ習慣ニナツテ居ッタコトダサウデゴザイマス、ソレカラ御維新後ニ於テハ此竹木ノ抵當ニ付テハ登記ヲスルコトニナツテ居リマシタガ、其後又訓令ニ依ツテ登記ヲヤメタ、ソレニ依ツテハ竹木ヲ抵當ニ入レテモ甚ダ懸念ナモノデアアル、安全ナモノデハナイト云フ所カラ、竹木ヲ賣ルニハ伐ツテ賣ル、伐ツテ賣ルト云フコトニナリマスルト長ク抵當ニ入レテ置クト云フコトモ出來ナイ次第デアリマス、ソレニ依ツテ損ヲスルノガ甚ダ多イ、ドウシテモ竹木ニ付テハ抵當ニスル途ヲ開ク、又登記ヲシテ安全ナルコトモ得サセナケレバイケナイト云フ所カラ、此案ガ出來マシタ趣デゴザイマス、ソレニ依ツテ委員會ニ於テハ討議ヲ爲シ質問モ大分出マシテゴザイマスガ、畫カラ此案ニ付テ少シ修正ヲ致シマシタ、其修正ト申シマシテモ政府案ニサウ變タ所ハゴザイマセス、先ヅ政府案ヲ少シ分リヨクシタト云フニ止マルノデアリマス、其修正ノ最モ喧マシクゴザイマシタノハ「竹木」トアリマスルノヲ、竹ト云フモノハ壽命ガ短イ又抵當ニスルト云ウテモナカ、木ノ如ク長ク抵當ニシテ置クト云フコトハ出來ナイ、多ク竹ニ付テハ三年目ニ伐リ變ヘナクテハナラナイ様子デゴザイマス、ソレニ依テ此「竹木」ノ「竹」ト云フコトハ取ツテ仕舞ッタ方が宜カラウ、政府委員ニ於テハ大分反對ヲサレテ居リマシタガ、段々議論ノ上デモウ「立竹木」ヲ「立木」ト直シテ差支ナイト云フコトデアリマスルカラ、此「竹」ト云フ字ハ皆削ルコトニ致シマシタノデアリマス、ソレカラ第二條ニ一項ヲ入レマシタ、其第二條ニ一項ヲ加ヘマシタノハ原案ダケハ不十分デアリ、又疑ヒヲ生ズルモノデアルカラ、此第二項ヲ加ヘテ置ク方が宜カラウ、其次ニ至リマシテハ字句ニ於テ少シバカリ、第七條ニ「其ノ」ト云

フ字ヲ二字加ヘマシタノデアリマス、其他ニハ第八條ニ民法ノ箇條ヲ引キマシタノヲ、之ヲ此所ヘ置クヨリハ茲デハ此箇條ヲ削リマシテ次ノ十條ト云フ所ニ移シタ方ガ宜イト云フノデ、唯置キ所ヲ變ヘマシタダケノコトデアリマス、其他ノ所ニ於テハ矢張り場所順序ヲ變ヘマシタダケノコトデアリマシテ、別ニヒドイ修正ヲ致シタ譯デモゴザイマセヌ、其事ニ付キマシテ政府ヘ相談ヲ致シマシタガ、政府ニ於テモ異論ハ無イ、此修正通り差支ナイト云フコトデアリマシタカラ、此修正通り決シマシタ次第ゴザイマス、唯今第十三條トナツテ居リマス此第十三條以下ハ、是ハ登記ヲ致シマスル手續ノ箇條デアリマシテ、モウ別ニ其手續ノ事デアリマスカラ、是ハモウ手ヲ付ケルコトハ無イカラ、モウ此十三條以下ハソックリ此政府案ニシテ置キマシタ方ガ宜カラウ、此竹木ノ抵當設定ノコトニ付キマシテハ第一條ヨリ第十二條マデノ中ニアルコトデアルカラ、此所ダケヲ不便ノ無イヤウニ致シ置ケバ、モウ十分デアルカラ、モウ手續ノ所ハ手ヲ付ケナイト云フコトデ昨日ハ終リマシタノデアリス、諸君ニ於キマシテモ、ドウカ委員會ノ決議ヲ賛成クダサイマスルヤウニ願ヒマス

○藤田四郎君 唯今、立竹木ノ法律案ガ出マシテ、委員長ヨリ報告ガゴザイマシタガ、本員ハ書類ヲ持ッテ居リマセヌガ、今チヨット脇ノ御方ノ持ッテイラシヤルノヲ拜見イタシマシタ所ガ、大分修正ガゴザイマスガ、此法律ハ非常ニ必要ナ法律トハ思ヒマスガ、中ニ書イテアル所ヲチヨット見マシタ所ニ依ルト、登記ヲ致シマスニハ本ノ數量ヲモ登記スルト云フヤウナ風ニ相成ッテ居リマスル、是ハ薪用樹ナリ又ハ造木林ナリ登記ヲ致シマスルニハ地方ニ依ツテ種々ノ利害モアリ慣例モ違ッテ居ル所モアリマスガ、結局抵當ノ目的ヲ達スルニハ登記ガ必要デアリマスケレドモ、本ノ數量マデモ登記ヲスルト云フコトデハ折角ノ良イ法律モ目的ヲ達スルコトガ出來ナクナリハシナイカト思ヒマス、併シソレニ付テハ政府ノ御考ノ如何デアルカ伺ヒタイト思ヒマシマス、大分修正ニモナツテ居リマスシ、案モ持ッテ居リマセヌカラ、是ハ此次ノ會ニ同シテ二讀會ヲ御開キニナルコトヲ希望イタシマス

○關義臣君 賛成デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 藤田君ニ申シマスガ、マデ第二讀會ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ採ッテ居リマセヌカラ左様御承知ヲ願ヒ置マス

○藤田四郎君 豫メ申シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○名村泰藏君 第二讀會ヲ直チニ御開キアラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵吉井幸藏君 賛成

〔賛成ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ名村君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

○議長(公爵徳川家達君) 甚ダ不明瞭デゴザイマスカラ、反對ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 反對ノ方ガ多數ト認メマス、藤田君ニ伺ヒマスガ此第二讀會ハ次ノ會議ト仰セラレマシタガ、又ハ定規ノ日數ヲ經ルノデアリマスルト二十七日ニナリマスガ、ドウ云フ御趣意デゴザイマシタカ、尙ホ伺ヒタウゴザイマス

○藤田四郎君 私ハ決シテ本案其モノニ反對ハ致シマセヌデゴザイマスガ、唯今申シタヤウナコトガアリ、大分修正モ多ウゴザイマスルシ且ツ數量ノ如キヲ載スルト云フコトデゴザイマスレバ、此法律ハ無用ナモノニナリハセヌカト思ヒマスノデ、能ク調ベマシテ、會期モ切迫シテ居ルコトデゴザイマスカラ、必シモ定規ノ日數ヲ置クト云フコトデハアリマセヌ、次ノ…明日デモ御開キニナリマスナラバ其時ニ御開キニナツテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 會期モ切迫シテ居リマスカラ、讀會ノ間ノ定規ノ日數ハ短縮シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○子爵本莊壽巨君 紙幣類似證券取締法案、之ヲ議事日程ニ追加サレテ直チニ議スルト云フコトニ…

○子爵曾我祐準君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 本莊子爵ノ議事日程追加ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ紙幣類似證券取締法案、政府提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、本莊子爵

紙幣類似證券取締法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十九年三月二十三日

右特別委員長

子爵本莊 壽巨

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵本莊壽巨君演壇ニ登ル〕

○子爵本莊壽巨君 紙幣類似證券取締法案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、是ハ紙幣ノ發行權ノ取締且ツ取引ノ安全ヲ圖ルノ法案デゴザイマシテ、地方ノ小銀行又ハ聊カノ資産アル者ナドガ十錢、五十錢、一圓其他一定ノ金額ヲ定メマシテ之ヲ兌換券ノ流通スルガ如クニ小切手ノ名稱ノ下ニ又ハ太政官札ノ如キモノヲ作製イタシマシテ流通ヲサシテ參リマスガ、初メノ内ニハ信用ヲ繋ギマス爲ニ其引換等ニ際シマシテハ速ニ之ヲ引換ヘテ參リマスケレドモ、信用ノ程度ノ進ムニ從ヒマシテ遂ニハ其類似ノ證券ガ矢張り兌換券ノ流通スルガヤウニ、相互ノ取引ニモ之ヲ用弗テ參リマスルト云フコトニナリマシタナラバ、從ッテ多數ニ之ヲ發行イタシマス、其時ノ如キハ一朝交換又ハ取付等ニ會ヒマシタトキニ其仕拂等ニ差支ヘマサル場合ニ至リマシテハ、ソレガ爲ニ損害ヲ被ムルト云フモノハ實ニ容易ナ譯デハアリマセヌ、實ニ利害モ大ナルモノデアリマス、デ是等ヲ取締リマスルト云フコトニ付キマシテハ別段ニ法律ノ定メモゴザイマセヌカラ、實ニ缺典ト言ハナケレバナリマセヌ、玩弄紙幣ノ取締ヲ以テ處罰シテ行クト云フコトモ出來マセヌ、是等ノ取締ハ又刑法ノ偽造變造ノ條ニ依ッテ取締ッテ行クトモ出來マセヌ、是等ノ取締ハ以前ハ國立銀行條例ノ第八十八條ニ依ッテ處分シテ參リマシタケレドモ、國立銀行ノ廢止ト共ニ其條例モ自然消滅ニ歸シテ居リマスカラ、之ヲ取締ルト云フコトノ途ノ無イ譯デゴザイマス、デ此法案ニ依リマシテ始メテ之ヲ取締ッテ

行クト云フ譯デアリマスカラ、委員會ニ於キマシテモ十分審議ヲ盡シマシテ

全然此案ハ可決スベキモノト云フ決議ヲ致シマシタ譯デアリマスカラ、何卒

諸君ニ於カレマシテモ委員會ノ議決通り可決セラレムヲ希望イタシマス、

又此法案ハ簡單ナ法案デモアリマスカラ、讀會ヲ省略シテ直チニ確定議ト爲

スト云フ動議ヲモ併セテ提出イタシマスカラ、是亦ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○奥山政敬君 讀會省略賛成

○野崎武吉郎君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○田中芳男君 賛成

○子爵新莊直陳君 賛成

○男爵北大路實信君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ニ定規ノ賛成者ガアッタト認メマ

ス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案賛成ノ諸君ノ起立

ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ請願ノ會議ニ移リマス、諸君ニ御諮リヲ致

シマスガ意見書案ノ朗讀ハ省略イタシテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス、議事日程ノ第二十

リ第三十マデ東ネテ問題ニ供シマス

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣

フ〕

意見書案

田租特免及食費給與並義務教育費補助ノ件

福島縣東白川郡常豐村平民農白石伊三郎外一萬六千五百八十九名(七

通)呈出

同縣石城郡入遠野村平民農上遠野庄吉外千三百五十八名呈出

右ノ請願ハ請願人等ノ各町村ハ明治三十八年稻作ノ大凶歉ト養蠶不良ノ災害トニ遭ヒ今ヤ民力ノ困憊其ノ極ニ達セルカ故ニ收穫皆無地ニ對スル田租ノ特免及農作仕付料トシテ食費ノ給與並義務教育費ノ補助ヲ受ケタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

萬國博覽會開設準備ノ爲官民合同委員會設置ニ關スル件

神戸商業會議所會頭岸本豐太郎外二名呈出

右ノ請願ハ萬國博覽會ノ開設ハ既ニ全國商業會議所聯合會ニ於テ可決セルトコロナルモ本邦ニ於テハ實ニ空前ノ一大事業ナルカ故ニ此ノ際適當ノ人士ヲ選任シテ官民合同ノ委員會ヲ組織シ以テ諸般ノ事項ヲ調査討究セシメ併テ之カ經營方法ノ立案ニ從事セシメタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

日本郵船株式會社航路補助繼續ノ件

仙臺商業會議所會頭八木久兵衛呈出

右ノ請願ハ現時日本郵船株式會社ヘ下付セラレツアル航路補助金ニシテ滿期後廢止ヲ見ルコトアラムカ從來僅ニ政府ノ保護ニ依リ維持セラレタル定期航路ノ如キハ忽チ休廢セラルヘク隨テ東北地方ノ如キハ海路ノ交通輸送ノ利便ヲ闕キ地方産業ノ衰頹ヲ來スヘキヲ以テ航路補助金ハ依然繼續下附セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決

致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

北海道雨龍増毛間鐵道敷設ノ件

北海道天鹽國増毛郡増毛町平民商本間泰藏外二十三名呈出

右ノ請願ハ北海道鐵道敷設法中雨龍原野ヨリ増毛ニ至ル豫定線路ヲ變更シテ雨龍原野ヨリ留萌港ニ移サムトスルハ港灣ノ良否交通運輸ノ便否如何ヲ察セテ徒ニ理由ヲ鐵道線路ノ不良ニ藉リテ將來永遠ニ涉ル經濟上ノ利益ヲ顧ミサルモノニシテ國家百年ノ大計ヲ誤レルモノナルニ依リ更ニ慎重ナル調査ヲ遂ケ以テ本問題ヲ解決セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

質屋取締法修正ノ件

青森縣青森市博勞町青森市質屋組合取締人柴田文太郎外十二名呈出

右ノ請願ハ現行質屋取締法ハ實際ノ狀況ニ適セス且民法ノ旨趣ト矛盾スルモノアリテ營業ノ安全ヲ確保スルコト能ハサルヲ以テ同法第三條中ノ「確認」ヲ「思料」同第十六條中ノ「贓物」ヲ「盜品」ト改正セラレ尙同法中ニ「此ノ法律ニ依リ違法ノ處分ヲ受ケ權利ヲ侵害セラレタルトキハ行政裁判所ニ出訴シ或ハ行政廳ニ訴願スルコトヲ得」トノ條文ヲ追加セラレタシトノ趣旨ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

渡良瀬川沿岸地方特別地價再修正ノ件

群馬縣新田郡島ノ郷村平民農石倉淺太郎外十四名呈出

右ノ請願ハ曩ニ渡良瀬川沿岸特別地價修正ニ於テ其ノ一部分ハ之カ恩典ニ浴シタルモ同一被害地タル水田ニシテ依然地價修正ニ漏レテ公課ノ負擔ニ任スルハ公平ヲ得サルニ依リ速ニ精確ナル再調査ヲ遂ケラレ他ト同様地價ヲ修正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

足尾銅山鑛毒處分ノ件

朽木縣安蘇郡界村平民農野口春藏外二百五十名呈出

群馬縣邑樂郡谷村平民農根岸政吉外八十五名呈出

右ノ請願ハ曩ニ鑛毒調査會ヲ設ケ被害事實ノ解決ニ任シ其ノ調査ニ基ケル處分法ヲ發布セシト雖其ノ方法タルヤ頗ル闕ルトコロアルヲ以テ縱令調査會ノ示シタル事項ノ全部ヲ實行セラルルモ未タ以テ満足スルコト能ハス況ムヤ其ノ必要ト認メタル事項中實施セラレタルモノハ唯地價修正ノ一ノミニシテ其ノ他何等積極的施設ナキヲ以テ一朝暴風雨山岳ヲ洗ヒ河水汎濫四縣ノ境ヲ沒シテ一大洪水ヲ現出スルコトアラムニハ請願人等ノ地方ハ遂ニ再ヒ手ヲ下スコト能ハサル荒野ニ化シ了ルヘシ其ノ身體財產ニ對スル危害未タ全ク除カレスシテ憂慮措ク所ヲ知ラサルニ依リ鑛毒處分中鑛毒ノ汎濫ヲ防止スルニ足ルヘキ河川改良ヲ第一トシ順次全部積極的ノ施設ヲ望ムトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

北海道市街宅地地價修正ノ件

北海道札幌區北三條士族會社員阿部宇之八外二百十三名呈出

小樽商業會議所會頭添田弼呈出

北海道函館區沙見町平民貸地業杉浦嘉七外二百八十六名呈出

右ノ請願ハ本道ノ開拓ハ逐年發達ノ機運ニ向ヒツアルモ民間ノ經濟ハ猶未タ幼稚タルヲ免レス故ニ地租ノ賦課率モ内地ニ比シテハ之ヲ低減スル必要アルニ依リ今同政府提出ノ市街宅地地價修正案中ニ於テモ本道ニ限り除外例ヲ設ケ當分ノ内從來ノ賦課率ヲ存置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

町村立小學校尋常科正教員俸給補助ノ件

福島縣安達郡鹽澤村村長齋藤市左衛門外十九名呈出

同縣西白河郡小野田村村長遠藤勇三外十三名呈出

右ノ請願ハ明治三十八年來作ノ凶歉ト養蠶ノ不良トニ遭ヒ加之日露戰役ニ伴フ重稅ヲ負擔シテ民力ノ凋弊其ノ極ニ達ス細民飢餓ニ瀕スルノ悲境ニ陷リ而シテ町村費總額ノ殆ムト二分ノ一ヲ占ムル教育費ノ如キハ尤モ重要ノモノナルモ現時ノ狀態ニ於テハ到底請願人等ノ負擔ニ堪ヘサルトコロナルヲ以テ明治三十九年度町村立小學校尋常科正教員ノ俸給全部ヲ補助セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

質屋取締法修正ノ件

愛知縣渥美郡豐橋町平民質屋業島田六郎外二十七名呈出
右ノ請願ハ現行質屋取締法ハ往々民法ノ趣旨ト矛盾シ實際ノ狀況ニ適セス
シテ營業ノ安全ヲ保ツ能ハサルモノアルヲ以テ同法中第三條第五條第十五
條第十六條ニ適當ノ修正ヲ施シ尙第十八條ニ「但禁止又ハ停止ノ處分ヲ受
ケタル者其ノ處分ニ對シテ不服アルトキハ上級官廳ニ向テ抗告シ又ハ行政
裁判所ニ出訴スルコトヲ得」トノ條文ヲ追加シテ一般ノ質屋ニ對シ相當ノ
保護ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノ
ト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

沖繩縣宮古八重山兩郡民選舉ニ關スル件

沖繩縣宮古郡平良間切西仲村士族農大村寛城外二名呈出
右ノ請願ハ當沖繩縣宮古八重山兩郡人民ハ現行衆議院議員選舉法ニ於テ未
タ議員選舉ノ權ヲ得ス均シク立憲治下ノ臣民ニシテ其ノ榮譽ト權利トヲ享
有セサルハ頗ル不公平ニシテ一視同仁ノ趣旨ニ背クモノナルヲ以テ議員選
舉ノ權ヲ附與セラレタシトノ趣旨ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○議長(公爵德川家達君) 採擇シテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ第三十一ヨリ第四十マデ東ネテ問題ニ供シマ
ス

意見書案

平元鐵道敷設ノ件

韓國平壤居留民士族民長馬場晴利呈出
右ノ請願ハ南韓ノ縱貫鐵道ニ對シテ北韓ニ橫斷鐵道ヲ敷設シ以テ交通機關
ノ完備ヲ計ルハ對韓經營上當面ノ急務ナリ而シテ鐵道敷設ノ主要ナル目的
ハ旅程ヲ短縮シテ交通運輸ノ迅速便益ヲ圖ルト共ニ沿道地方ニ於ケル殖産
興業ノ發展ヲ促スニアリ此ノ目的ヨリ打算スルトキハ平元線ニ若クモナ
キヲ以テ平壤元山間ニ鐵道ヲ急設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意
ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送
付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

新聞販賣業ニ對スル營業稅免除ノ件

東京市京橋區元數寄屋町平民新聞販賣業野村清吉外四名呈出
右ノ請願ハ新聞紙ハ文明的公益事業タルノ故ヲ以テ課稅ヲ免除セラレタル
以上ハ之カ普及機關ナル新聞販賣業ニ對シテモ營業稅法第十一條第三項ヲ
修正シテ之ヲ免除セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇ス
ヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

織物消費稅ニ關スル件

岐阜縮緬同業組合組長高橋慶太郎外三名呈出
右ノ請願ハ織物消費稅ハ徵稅方法ノ煩雜、脫稅ノ弊、課稅ノ均一ヲ關ク等
産業ノ發達ヲ阻害スルモノナルヲ以テ速ニ本稅ヲ全廢スルカ若シ已ムヲ得
ス之ヲ繼續スルトセハ機臺ニ對シ課稅スルカ又ハ稅率ヲ低減セラレタシト

ノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

區裁判所管轄變更ノ件

京都府加佐郡有路下村平民農赤松久雄外十六名呈出
右ノ請願ハ當京都府加佐郡有路下村ハ舞鶴區裁判所ノ管轄ナルモ其ノ間三里半乃至四里ヲ隔テ往復ニ二日ヲ要スル爲實際上不便利甚シキヲ以テ福知山區裁判所ノ管轄ニ變更セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

市街宅地地價修正ニ關スル件

三重縣桑名郡桑名町平民商朝川吉藏外千五十五名呈出
右ノ請願ハ曩ニ市街宅地地租増徴ノ時都鄙ノ別ナク盛衰ノ情態ヲ顧ミス均一ノ稅率ヲ増課セラレタル爲今ヤ請願人等ノ地方ハ之カ偏重ノ負擔ニ堪ヘサルヲ以テ今期議會ニ提出ノ市街宅地地價修正案ニ於テ最モ公平ナル徵稅方法ニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

渡良瀨川沿岸地方特別地價修正ノ件

群馬縣山田郡葦川村平民農長山新四郎外七十八名呈出
右ノ請願ハ當渡良瀨川ノ沿岸ナル群馬縣山田郡葦川村毛里田村矢場川村休泊村ハ明治三十七年法律第十六號ニ依リ概ネ下級ノ等級ヲ以テ地價修正セラレタリト雖之ヲ下流ノ隣村ニ比スルトキハ尙權衡ヲ失フノミナラス畑地ニ屬スル分ハ未タ全修正セラレサルヲ以テ昨三十八年ニ於テ帝國議會ニ請願シ幸ニ採擇ヲ得タルモ未タ其ノ實行ヲ見サルニ依リ速ニ調査ノ上再修正ノ恩典ニ浴スル様取計ハレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

渡良瀨川沿岸特別地價修正ノ件

群馬縣新田郡生品村平民農廣瀨太郎外五十名呈出
同縣邑樂郡高島村平民農岩崎勘吾外六十名呈出
同縣同郡大箇野村平民農高瀨平一郎外七名呈出
右ノ請願ハ其ノ陳述スルトコロ多少ノ差アリト雖要スルニ請願人等ノ地方ハ同シク渡良瀨川ノ灌漑地ニシテ其ノ上流下流ノ灌漑地殊ニ接續セル隣村ノ如キハ皆地價ノ修正ヲ得タルニ獨請願人等ノ居村ハ明治三十七年法律第十六號ノ地價修正ニ漏レタルカ故ニ再調査ヲ爲シテ他町村ト同様特別地價修正ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

凶作被害地窮民食料給與ノ件

福島縣伊達郡保原町町長太宰文藏外四十名呈出

右ノ請願ハ請願人等ノ地方ハ連年ノ罹災ニ次クニ明治三十八年ハ未曾有ノ凶歉ニ遭ヒ加之日露戰役ニ伴フ重稅ヲ負荷シテ細民ノ窮乏其ノ極ニ達セリ而シテ中産以上ノ者極力之ヲ救恤ニ努ムルモ到底其ノ望ヲ達スルコト能ハサルヲ以テ別ニ適當ノ方法ヲ講シ瀕死ノ民ニ食料ヲ給與セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

普通教育費國庫補助ノ件

福島縣伊達郡保原町町長太宰文藏外七十七名(三通)呈出

右ノ請願ハ請願人等ノ地方ハ連年ノ罹災ニ次クニ明治三十八年米作ノ大凶歉ト養蠶不良ノ災害トニ遭ヒ加之日露戰役ニ伴フ重稅ヲ負荷シテ民力ノ困憊其ノ極ニ達シ戸々飢餓ニ瀕スルノ慘境ニ陷レリ而シテ國民教育ノ如キ一日モ忽諸ニ付スヘカラサルモノナルモ現時ノ狀態ニ於テハ到底其ノ負擔ニ堪ヘサルヲ以テ國庫ヨリ町村教育費ヲ補助セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

帝國總領事館移轉ノ件

清國天津英租界ウイクトリアロード横濱正金銀行内平民鈴木島吉外百十四名呈出

右ノ請願ハ清國天津ニ於ケル我日本總領事館ハ英國租界ノ南端ニ在リテ專管居留地ヲ距ルコト遠キカ爲ニ商業其他諸般ノ用務上在留民ノ蒙ル不便及國家經濟上ニ及ホス損害尠ナカラサルヲ以テ速ニ之ヲ專管居留地内ノ豫定

地ニ移轉セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○議長(公爵德川家達君) 採擇シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ第四十一ヨリ第四十四マデヲ問題ニ供シマス

意見書案

庄内川改修ノ件

愛知縣愛知郡織豐村村長吉田熊三郎外二十六名呈出

右ノ請願ハ庄内川ハ流水氾濫シテ沿岸ノ各町村ニ慘害ヲ被ラシムルコト連年相次キ民衆爲ニ流離顛沛ノ悲境ニ陷ラムトス而シテ之ヲ治水工事ヲ一地、方ノ經濟ニ委スルハ到底民力ノ堪ユルトコロニ非サルニ依リ速ニ國費ヲ以テ改修工事ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

地價修正ニ關スル件

山形縣西田川郡鶴岡町士族公吏林茂政外八百四十九名呈出

右ノ請願ハ當山形縣西田川郡鶴岡町ノ宅地地價ハ繁榮ノ度當町ニ比シテ數層ノ上ニ在ル米澤秋田青森弘前等ノ近接各市ニ比スレハ其ノ地價頗ル過重ナルヲ以テ調査ノ上適當ノ修正ヲ加ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

新莊酒田間鐵道速成ノ件

山形縣西田川郡鶴岡町士族公吏林茂政外八百四十九名呈出
右ノ請願ハ新莊酒田間ノ鐵道敷設ハ地方産業ノ發達ト人文ノ開進トヲ促ス
ノミナラス早晚敷設ノ計畫ヲ見ルヘキ越羽沿岸鐵道ト奥羽南北線トノ連絡
ヲ保ツヘキ樞要ノ線路ナルヲ以テ戰後經營ノ一トシテ該線路ヲ鐵道敷設法
中ノ第一期線ニ繰上ケ速ニ起工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ
大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付
候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

口羽郵便局ニ電線架設ノ件

島根縣邑智郡口羽村村長加藤猪太郎外三名呈出
右ノ請願ハ當島根縣邑智郡口羽村ハ郷川ノ沿岸ニ在リテ近時道路ノ改修ト
河底ノ浚渫トニ由リ人文産業ノ發達セルニ拘ラス電線ノ架設ナキカ爲遠ク
三次或ハ出羽局ヲ經サレハ音信ヲナスコトヲ得サルヲ以テ地方人民ノ不便
尠ナカラサルカ故ニ口羽郵便局ニ於テモ電信事務取扱ヲ開始セラレタシト
ノ請願ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○議長(公爵德川家達君) 皆採擇イタシテ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 是デ本日ノ議事ハ終リマシタ、散會前ニ諸君ニ御
諮リ致シマスガ、衆議院ヨリ追加豫算ノ送付ガアラウト考ヘマスガ、其時ニ
ハ審査期限ヲ定メズシテ直チニ豫算委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス、明日ハ日曜デゴザイ
マスガ、會期ガ切迫イタシマシタ爲ニ開會ヲ致シマス、議事日程ハ決定次第
御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會イタシマス

午前十一時四十分散會